

令和2年度公益財団法人せたがや文化財団の経営状況に関する書類の提出

1. 実施事業

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
生活工房アーカイブ展	4,567人	室内楽シリーズ	232人
世田谷アートフリマ つながり展2020	2,142人	シリーズ和・華・調	248人
第6回世田谷区芸術アワード“飛翔” 生活デザイン部門受賞記念発表展 未来に伝えるせたがや今ばなし	2,491人	【オリンピック・パラリンピック関連事業】 【一部中止】 Setagaya太鼓塾	255人
渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり	9,729人	【米国ホストタウン関連事業】 Let's Sing ゴスペル! 2020	274人
生活工房バックヤード展	2,875人	せたがやバンドバトル	137人
10代に向けたセミナー OriHimeで会いにゆく—孤独を消すためのテ クノロジー	96人	せたがやジュニアオーケストラ	98人
ワークショップ:「日常を見限らない」、「日常探検LABO」、「14 歳のワンピース」 セミナー:「世田谷おはなしネットワーク講演会」、「朗読講 座」、「哲学対話 パラシフ」ほか		【一部中止】 せたがや音楽研究所、学校へのアウトリーチ、せたがやまち かど・まちなかコンサート ほか	
総入場者数	44,163人	総入場者数	3,189人
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
【オリンピック・パラリンピック関連事業】 【中止】白井晃 演出作品『ある馬の物語』	—	現代能楽集X 『幸福論』～能「道成寺」「隅田川」より	2,881人
栗山民也 演出作品 『殺意 ストリップショウ』	1,316人	芸術監督企画 『子午線の祀り』	4,257人
芸術監督企画 『MANSAI・解体新書 その参拾巻』	300人	【一部中止】 カンパニー・オクトーブル『Midnight Sun／真夜中の太陽』、劇 団GUnaGU『ウオッカとクロム』(仮)、『Ate9 (エイトナイン)』、 学校のためのワークショップ、移動劇場「@ホーム公演」、こ どもプロジェクト2020「お話の森」『悟空～Before the Journey to the West～』、「地域の物語」ほか	
森新太郎 演出作品 『エレファント・マン THE ELEPHANT MAN』	17,885人	総入場者数	100,974人
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	1,895人	多文化理解講座	88人
日本語コミュニケーション講座	23人	外国人と関わる団体のオープン情報交換会	35人
区民国際交流事業(せたがや国際メッセ)	173人	総入場者数	2,214人
世田谷美術館		世田谷文学館	
器と絵筆—魯山人、ルソー、ポーシャンほか	11,743人	【東京2020大会関連事業】 安野モヨコ展 ANNORMAL	10,003人
アイノとアルヴァ 二人のアールト フィンランド—建築・デザインの神話	5,006人	【東京2020大会関連事業】 あしたのためにあしたのジョー！展—情熱 的にあすを生き抜くために—	7,987人
本館ミュージアムコレクション代替事業 作品のない展示室	16,625人	没後10年 井上ひさし展—希望へ橋渡しする人	4,496人
本館ミュージアムコレクション代替事業 再読！！5つの物語—美術が語る夢と現実	7,929人	第39回 世田谷の書展	456人
上記他、本館ミュージアム コレクション(第I 期～第III期)、各分館収蔵品展(年2回)	32,612人	【令和3年度延期】 イラストレーター 安西水丸展	—
【中止】 「驚異の三人！！高松次郎・若林奮・李禹 煥展—版という場所で」、「没後20年 麻生三 郎展 三軒茶屋の頃 1948-1972」	—	コレクション展—綴じられた時間の物語—ムツ ト—ニのからくり文学館	2,471人
【令和3年度延期】 「生誕160年記念グランマ・モーゼス展—素 敵な100年人生」		ライブラリー「ほんとう」の運営	5,302人
【一部中止】 講座・ワークショップ、美術大学、鑑賞教室ほ か		どこでも文学館(出張展示、ワークショップな どの教育普及事業)	132,122人
総入場者数	151,349人	総入場者数	165,620人

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	小計	収1	収2	小計			
	文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,118,002		4,118,002
特定資産運用益	797,408	0	797,408	0	0	0	0		797,408
事業収益	1,007,461,456	94,500	1,007,555,956	10,182,133	2,841,202	13,023,335	0		1,020,579,291
受取区補助金	1,280,494,000	37,156,000	1,317,650,000	0	0	0	4,458,000		1,322,108,000
受取助成金等	74,196,297	0	74,196,297	2,000,000	0	2,000,000	0		76,196,297
受取寄附金	369,340	0	369,340	0	0	0	0		369,340
受取負担金	13,332,269	0	13,332,269	253,540	3,635,687	3,889,227	0		17,221,496
雑収益	334,347	0	334,347	24,458	0	24,458	130,000		488,805
経常収益計(A)	2,376,985,117	37,250,500	2,414,235,617	12,460,131	6,476,889	18,937,020	8,706,002		2,441,878,639
(2) 経常費用									
事業費	2,350,141,864	34,308,416	2,384,450,280	14,671,455	4,397,049	19,068,504			2,403,518,784
管理費	0	0	0	0	0	0	6,885,587		6,885,587
経常費用計(B)	2,350,141,864	34,308,416	2,384,450,280	14,671,455	4,397,049	19,068,504	6,885,587		2,410,404,371
当期経常増減額(C)=(A-B)	26,843,253	2,942,084	29,785,337	△ 2,211,324	2,079,840	△ 131,484	1,820,415		31,474,268
2 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計(D)	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
経常外費用計(E)	9,314	0	9,314	508,217	0	508,217	0		517,531
当期経常外増減額(F)=(D-E)	△ 9,314	0	△ 9,314	△ 508,217	0	△ 508,217	0		△ 517,531
税引前当期一般正味財産増減額(G)=(C+F)	26,833,939	2,942,084	29,776,023	△ 2,719,541	2,079,840	△ 639,701	1,820,415		30,956,737
他会計振替額(H)	0	0	0	0	0	0	0		0
法人税、都民税及び事業税(I)	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額(J)=(G+H-I)	26,833,939	2,942,084	29,776,023	△ 2,719,541	2,079,840	△ 639,701	1,820,415		30,956,737
一般正味財産期首残高(K)	589,457,728	△ 2,856,640	586,601,088	118,398,241	11,344,466	129,742,707	4,747,287		721,091,082
一般正味財産期末残高(L)=(J+K)	616,291,667	85,444	616,377,111	115,678,700	13,424,306	129,103,006	6,567,702		752,047,819
II 指定正味財産の部									
受取寄附金	5,844,000	0	5,844,000	0	0	0	0		5,844,000
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,118,002		4,118,002
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	4,118,002		4,118,002
当期指定正味財産増減額(M)	5,844,000	0	5,844,000	0	0	0	0		5,844,000
指定正味財産期首残高(N)	0	0	0	0	0	0	800,000,000		800,000,000
指定正味財産期末残高(O)=(M+N)	5,844,000	0	5,844,000	0	0	0	800,000,000		805,844,000
III 正味財産期末残高(P)=(L+O)	622,135,667	85,444	622,221,111	115,678,700	13,424,306	129,103,006	806,567,702		1,557,891,819

令和2年度
公益財団法人せたがや文化財団

事業報告書
財務諸表

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業報告)

1	令和2年度事業報告総括	1
2	事業実績	10
3	事業評価	48
4	重要な契約の概要	52
5	登記事項	53
6	理事会・評議員会開催状況	54
7	役員名簿	56
8	評議員名簿	57
9	財団幹部名簿	58

(財務諸表)

1	貸借対照表	59
2	損益計算書（正味財産増減計算書）	60
3	附属明細書	74
4	財産目録	75

(監査報告)

	監査報告書	79
--	-------	----

事業報告書

1. 令和2年度事業報告総括

(1) 財団全体の取組

せたがや文化財団は、世田谷区の文化・芸術振興に中心的な役割を果たすことが求められており、定款の目的に掲げる「幅広い文化・芸術事業の展開と多様な文化創造活動や市民活動などの支援」の実現に向け、取組みを進めてきた。

令和2年度のせたがや文化財団は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全館全事業部の全ての事業が活動の中止、延期、見直し等を余儀なくされた。影響は財団の活動のあらゆる分野に及び年3回発行していた財団の広報誌「せたがやアーツプレス」も休刊状態が続いている。このように、1年以上が経過した今も、美術館、文学館等は再び休館となるなど収束は見通せない状況にあり、コロナ禍以前と同様の活動は未だにできていない。このため、令和2年度の財団全体での施設入場者・事業参加者数は前年度比ではほぼ半減となる約40万人の減となった。未曾有の状況ではあったが、7月にシアターラムで上演した「殺意(ストリップショウ)」や、主劇場での10月の「エレファント・マン」、11～12月の「現代能楽集 X『幸福論』」では出演者や作品への受賞が相次いだ。また、美術館の建物そのものをご覧いただく「作品のない展示室」(7～8月)や、文学館での「安野モヨコ展 ANNORMAL」(7～9月)は、開催中にSNS等への投稿が多くあり、それぞれ1万6千人、1万人を超える来館者をお迎えすることができた。財務面では、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」(以下「認定法」という。)に定める公益目的事業比率(注)は概ね99%であった。損益は、経常収益が24億4,187万余円、経常費用が24億1,040万余円で、当期経常増減額は3,147万余円の増となった。また、組織運営面では、新たな国際施策推進のため、令和2年4月に、新たに「国際事業部」を設置し、「せたがや国際交流センター」での運営を始める予定であったが、休館からのスタートとなった。そのほか、アテンダント業務の受託事業者への補償費用やアルバイト職員への休業手当の支払い、財団運営の基盤となる職員の服務環境の整備などに取り組んだ。

新型コロナウイルス禍による影響は暫く継続し、また、収束後も元に戻るには時間も必要と想定する。財団は、区や区民、利用者、関係団体等と連携し、文化・芸術が持つ力を最大限発揮できる様に準備し、区民、利用者の支えの一助となるように取り組む。

(注)公益目的事業比率：公益法人の活動全体における公益目的事業活動の割合がその費用額において、50%以上であることを求めるもの(認定法第15条)

各事業部の事業参加者・施設入場者数の推移(人)

年度	生活工房	パブリックシアター	音楽事業部	国際事業部	美術館	文学館	合計
令和2年度	44,163	100,974	3,189	2,214	151,349	165,620	467,509
令和元年度	113,845	228,234	5,331	—	259,088	252,502	859,000
平成30年度	132,017	220,974	16,158	—	302,460	267,931	939,540
平成29年度	135,222	225,035	8,392	—	373,408	172,363	914,420
平成28年度	136,230	220,508	9,536	—	346,589	141,150	854,013

(世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は含まず)

(2)各事業部事業

《世田谷文化生活情報センター》

① 生活工房

生活工房では、「暮らし×デザイン」を切り口に、生活の原点にあるものを見据えつつ、ジャンルや形式にとらわれない幅広いテーマで展覧会、ワークショップ、セミナー等を企画してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、年度初頭から臨時休館となり、6月16日に感染症対策を取りつつ再開したものの、事業計画の大幅な変更を余儀なくされた。

施設運営においては、緊急事態宣言を受けての臨時休館や、人数、時間に制限を設けての利用再開、感染拡大防止の対策等、東京都や世田谷区の方針に沿って遂行した。

公1-2「文化芸術の啓発、体験に資する展覧会」

年度明け4月5日までを予定していた展覧会「世田谷クロニクル1936-83」は、会期中の関連イベントがすべて中止となった上、緊急事態宣言を受けて臨時休館となり、3月29日でやむなく閉幕した。東京2020大会に合わせ開催を予定していた「火と人展」「1964年のホームステイ」は、東京2020大会の延期にともない中止、また「ポーランドヤノフ村の絵織物」についても、現地との往来が困難なため中止となった。米国ホストタウン関連事業「アメリカン・トイズ since 1920sー暮らしと時代を映す玩具展」は令和3年度に延期した。また世田谷に約400年続く農家に取材した「大平農園と畑のレシピ帖展」は会期を繰り延べ、3月から翌年度にかけての開催とした。

施設再開後は、中止、延期した事業に代え、記録映像やポスターなど、これまでの事業のアーカイブ資料を活用した「生活工房アーカイブ展」を3期にわたり開催し、困難な状況下でも区民が文化芸術を身近に感じられるよう発信を続けた。さらに、3階生活工房ギャラリーに可動式展示コーナーを設置したのを機に、生活工房の開設準備からこれまでを、写真、映像、資料や関連物品からたどる「生活工房バックヤード展」を開催し、中止となった「火と人展」「1964年のホームステイ」の一部も紹介した。

年度内で唯一、大きな展覧会となった「渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり」は、十分な感染症対策のもとで開催し、身近にある豊かな生活文化に触れる機会として反響があった。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

夏の子どもワークショップの計画を大きく見直し、自宅からインターネットや郵送で参加する、夏の子ども“テレ”ワークショップ「日常探検 LABO～時間のフシギ編～」を実施した。ワークショップ「14歳のワルピース」は、時期を繰り延べ春休みに開催。10代向け講演会は、前年度に続き孤独を解消する分身ロボットの設計者を講師に、対面とオンラインの併用で実施した。

ワークショップ「日常を見限らない」では、コロナ禍で外出自粛が続く中、「家の音風景」をテーマに生活音に耳を傾け、参加者が集めた音からアーティストが創作した楽曲をウェブで公開した。「哲学対話 PARA SHIF (パラシフ)は、感染状況を見極めながら、3月に対面で開催した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

第6回「世田谷区芸術アワード“飛翔”」生活デザイン部門の受賞発表展「未来に伝えるせたがや今ばなし」を実施した。区民参加によるワークショップのプログラムをすべてリモートに作り替えてそのプロセスと成果を展示し、会場での公開制作も行った。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

展覧会「世田谷クロニクル」は会期中で閉幕となったが、情報誌「季刊生活」の特別号としてこの展覧会の特集を組んだほか、展覧会を記録した動画をウェブで公開するなど情報発信に努めた。また、視覚性を重視した年度事業報告「アニュアルレポート」はコロナ禍の生活に着目し編集した。また、ホームページの充実を図り、企画にまつわるモノやコトを紹介する「生活工房マガジン」をスタートさせた。新聞等報道機関への情報提供や、SNSによる情報発信も積極的に行った。

ウェブで公開している「日常を見限らない」「哲学対話 PARA SHIF」の過去の記録映像は、SNSを介して広がりを見せ、視聴回数は多いもので12,000回以上を数えている。

公1-8「文化芸術の拠点施設の管理運営」

指定管理者として、セミナールーム AB、ワークショップルーム AB の管理運営を行った。新型コロナウイルスの影響による臨時休館、時間短縮、定員の制限等に対応するとともに、感染拡大防止対策として抗ウイルスコーティングの施工等を行った。

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

市民グループの活動の場「市民活動支援コーナー」は、前年度末から休室して改修を行っていたが、緊急事態措置による臨時休館を経て6月中旬からの再開となった。休館中には登録団体の活動状況等を把握するためのアンケート調査を行った。また、市民活動団体の運営上の課題解決を支援するため「NPO・市民活動のためのステップ・アップ講座」を対面で実施した。コロナ禍で市民活動が大きく制約を受け、継続が難しくなっている状況から、対面とオンラインを活用した活動事例の紹介や、オンラインによるつながり作りをテーマとした。また、今後の利用活性化のため、市民活動支援コーナーの利用案内パンフレットを新たに制作した。

地域に根差したイベントとして定着しているアートの“のみの市”「世田谷アートフリマ」は春・秋の2回とも中止となったが、ゆかりのアーティストによる「世田谷アートフリマつながり展2020」を開催した。

② 世田谷パブリックシアター

世田谷パブリックシアターは、1997年に開場し、主劇場(世田谷パブリックシアター)とシアタートラムの2つの劇場と大小3つの稽古場を中心に、「新しい作品とレパートリーの創造」、「国際的な共同制作」、「地域や学校その他の区内施設との連携」、「普及啓発・人材養成事業」、「国内の公共劇場との連携」等を柱に、国内外に発信する創造型の公共劇場として活動している。

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

国内演劇創作事業として、主劇場で2本、シアタートラムで2本の作品を上演した。主劇場では10月に『エレファント・マン』、3月に『子午線の祀り』を上演。トラムでは7月に『殺意(ストリップショウ)』、11～12月に「現代能楽集 X『幸福論』」を上演。また、『子午線の祀り』は、全国各地でも上演し、好評を得た。これに加え、6～7月には主劇場で『ある馬の物語』を上演する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた。

上演作品はいずれも意欲作であり、高い評価をいただいた。『殺意』の演技により、鈴木杏が紀伊国屋演劇賞個人賞、第28回読売演劇大賞 大賞・最優秀女優賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞(演劇部門)を受賞。また、『エレファント・マン』の演技により小瀧望が第28回読売演劇大賞 杉村春子

賞・優秀男優賞を受賞した。さらに「現代能楽集 X『幸福論』」(作:長田育恵・瀬戸山美咲、演出:瀬戸山美咲)は第28回読売演劇大賞 最優秀スタッフ賞(齋藤茂男)、選考委員特別賞、優秀演出家賞(瀬戸山美咲)を受賞した。

恒例の「MANSAI◎解体新書」は、9月に第31回を実施。夏休み期間には、“こどもプロジェクト”として、春風亭一之輔プロデュースによる寄席企画『せたがや夏いちらくご』を新たに立ち上げた。また、子どもとおとなのための読み聞かせ「お話の森」については時期・会場を移して実施にこぎつけたが、台湾からの招聘公演『悟空～Before the Journey to the West～』、『日野皓正 presents “Jazz for Kids”』は新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた。また、「作品創造研究」実演家(劇作家、演出家)の作業場も同様に中止となった。ダンス、演劇の提携公演も中止が相次いだ。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

コミュニティプログラムや学校プログラムは、新型コロナウイルスの影響により大幅な事業見直しを余儀なくされた。劇場の臨時休館や学校の休校の影響もあり、実施回数は大きく減ったが、「密」や身体的接触を避ける工夫をおこない、試行錯誤を続けながら事業を実施していった。

開場以来の区民参加型企画「地域の物語」は、下馬地区に焦点を当て、新しいコミュニティシアターの形を探った。昨年度に引き続き、シンガポールと国際交流も実施する予定であったが、これは新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得なかった。

また、高齢者施設や障害者施設を訪問して行う「移動劇場@ホーム公演」、区教育委員会の受託事業として計画していた「古典芸能鑑賞教室」についてもやむを得ず中止した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

開場以来、区民が舞台に立つ機会として恒例となってきた「フリーステージ」は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、若い演劇人の発掘と育成を目的とした「シアタートラム ネクスト・ジェネレーション vol.13」は第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表公演として実施した。外部審査員によって選出された団体“パンチェッタ”が『un』を上演した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

秋の恒例事業となった、世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は、新型コロナウイルスの影響で商店街等屋外での開催を断念し、主劇場およびトラムにおいて、観客数を制限して開催した。また、配信を実施し、劇場に来ることができなかった方々にも鑑賞機会を提供した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

ホームページや広報紙誌、マスコミ媒体等を通じて、劇場の活動を広く区民等に発信した。また、学芸事業の紹介冊子『CarroMag』も発行した。

公1-7「国際交流のための文化芸術事業」

オリンピック・パラリンピックイヤーにおける機運醸成を視野に入れ、例年以上に力を入れて取り組んだ国際交流事業は新型コロナウイルスの影響を特に大きく受け、『オルフェ』、『Midnight Sun/真夜中の太陽』、『ウォッカとクロム』、『Ate9』のすべてが中止となった。ただし、『Midnight Sun/真夜中の太陽』については、代替として映像上映会やオンラインのワークショップを実施した。

③ 音楽事業部

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

新型コロナウイルスの影響により、会場定員の半減をはじめ、さまざまな変更を余儀なくされた。

「せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート」は、合奏を行うことができず、小編成アンサンブルによる、関係者のみの公演とした。「室内楽シリーズ」のうち、2台のピアノを聴衆が取り囲む「アラウンド・ザ・ピアノ」は、来日できなくなったピアニストを変更。児玉麻里と菊池洋子という貴重な組み合わせが評判を呼び、映像の配信も行った。もうひとつの「須川展也サクソフォン・リサイタル」は、日程を延期して開催。バッハを中心に据え、サクソフォンのもつ様々な側面を示した。日本の伝統音楽を紹介する「シリーズ和・華・調」は、篠笛・能管の第一人者・中川善雄と薩摩琵琶の気鋭・北原香菜子の織り成す響きが、会場を魅了した。オリンピック・パラリンピック関連事業として準備してきた「せたがやキックオフコンサート」は東京2020大会の延長を受けて、中止となった。

池辺晋一郎音楽監督の企画「異分野とのコラボレーション」は、「天体と音楽」がテーマ。天文学者・長谷川哲夫との話やトップ・プレイヤー集団《東京六人組》の演奏で、聴衆をひととき宇宙へと誘った。世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団による「せたがや名曲コンサート」は、両団とも年間を通じて、集まった練習がほとんどできず、中止となった。「連携コンサート」では、休館開けの世田谷美術館「作品のない展示室」企画と連携して、「展示室の音色」と題したミニコンサートを連続開催。美術館来館者に多彩な楽器の音色を紹介した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

新型コロナウイルスの影響により、参加人数・方法を制限せざるを得なかった。

宮川彬良スペシャル・プロデューサーの「せたがや音楽研究所」は、合唱団の公募を断念。“ステイホーム”の命題から、〈家族で〉、〈家族の〉音楽を特集した。「Let's Sing ゴスペル！2020」は、ワークショップをオンライン中心のものに変更して実施。発表のコンサートも密を避けて、コースごとのステージとなったが、参加者の満足度は、例年にも増して高かった。「Setagaya 太鼓塾」のワークショップは、東京2020NIPPON フェスティバル共催プログラム「キックオフコンサート」の中止を受け、中止となったが、練習に励んできた子どもたちに報いるためにも、代替となる「2020 FINAL CONCERT せたがや和の響演」を開催した。限定されたワークショップでの出演だったが、子どもたちは集中力高い演奏で応えた。

「せたがやジュニアオーケストラ」は、7月まで活動を停止、再開後も人数制限や管楽器の飛沫問題などにより、練習会場が著しく制約を受けた。年明けからは対面練習ができず、オンラインによるレッスンという非常に厳しい条件下での活動となった。昨年度に続き、本年度の「定期演奏会」も中止となったが、関係者のみに公開するリハーサルを実施。合奏練習ができたのは前日1回だけであったが、素晴らしい演奏で1年を締めくくった。「学校へのアウトリーチ」は、学校側と協議の結果、中止となった。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

「せたがやバンドバトル」は、密が避けられないライブハウスでの予選が実施できず、公募を断念した。世田谷区民会館が改修工事中で、今後も当分開催が見込めないため、決勝大会に代えて、過去の入賞バンドの演奏と審査員・ゲストによるトーク&ライブ・セッション「FINAL LIVE」を開催した。

「世田谷区民音楽団体の支援」は、例年通り、世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団の3団体の活動を支援した。各団とも、定期演奏会は中止、集合形式での練習もほとんど行えない状況が続く中、活動について情報の共有を図った。区民吹奏楽団が、新しい

音楽監督兼正指揮者に齋藤充を迎えた。

第6回「世田谷区芸術アワード“飛翔”」受賞者、座・草月×UNT JAZZ Quartet の記念公演は、「四時の歌 秋編 ジャズ×いけばな×テクノロジー」のタイトル通り、音楽に合わせて、会場が花と映像で彩られていくという意欲的なもので、3回公演を成功させた。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

「まちなかコンサート」は、好評を得ている「コトコさんのドレミ図書館」。時期と会場の変更を迫られ、人数を絞って実施。緊急事態宣言期間中の開催となったが、直ちに満席となる人気だった。「まちかどコンサート」は、密集となることを避けるため、街角で事前の告知を行わずに音楽を届ける試みを行った。

「せたがや音楽プロジェクト」は、日程の延期を経ながらも「オールド・アメリカン・パブ・クラブ」と題したバラエティに富んだ公演を実施、年配の方の多い客席を楽しませたが、一方で恒例となっていた「音楽は自由をめざす」の公演は、中止となった。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

「音楽事業部広報」活動は、度重なる事業の変更に対して、丁寧な対応に努めた。世田谷区からの受託で発行する「せたがや音楽通信」は、3回の冊子の発行が中止となり、web 版1回のみとなってしまったが、苦境にあるライブハウスを特集した。

④ 国際事業部

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)は、主に在住外国人への多言語での情報提供、相談窓口の案内、多文化共生や国際交流活動をしている地域活動団体の紹介などを行う施設として本年度オープンした(臨時休館につき、5月末までは電話とオンラインによる開設)。

区民国際交流事業や外国人のためのまち歩きツアーなど、外国人と日本人の交流を目的とする事業は、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた。

交流イベントが中止される中、代替イベントとして、区内で多文化共生や国際交流をしている団体や大学が相互に情報交換する場を、一般の人にも公開した形で行う「外国人と関わる団体のオープン情報交換会」を実施した。

海外の文化や生活の違い、価値観の違い等を知ることができる「多文化理解講座」を、各回テーマを変えて4回実施した。

外国人が日本語を学ぶ場となる「日本語コミュニケーション講座」を、水曜日コース(オンライン)と土曜日コース(教室形式)をそれぞれ実施した。

「国際事業部広報」活動は、当初ホームページの公開とSNSによる発信、情報ガイドの掲載から始め、その後、メールマガジンの発信、ニュースレターの発行を加えて充実を図った。

《世田谷美術館》

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施および調査研究」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、展覧会事業は大きな影響を受けた。

世田谷美術館では、計画していた5本の企画展に加え、オリンピック、パラリンピック期間に計画していた大型収蔵品展のすべてが、中止もしくは延期となった。加えて、3月31日から6月1日、感染症拡大防止のため本館、分館とも臨時休館とした。

再開後は、美術館の建物そのものをご覧いただく「作品のない展示室」(7月4日～8月27日)をはじめ、収蔵品を活用した「再読!!! 5つの物語」(9月5日～12月6日)、「器と絵筆—魯山人、ルソー、ポーシャンほか」(2021年1月5日～2月28日)を企画・実施。そして当初計画から約2カ月の延期で「アイノとアルヴァ 二人のアアルト」(3月20日～6月20日)の開催に至った。また、収蔵品をご覧いただくミュージアム コレクションは、会期変更をして開催を持続した。なお、「アイノとアルヴァ 二人のアアルト」から、「密回避」を目的に、オンラインによる日時予約制を導入した。

作品の収集、調査・研究、また年間事業のアーカイヴズについては、感染症対策を講じつつ事業を継続し、令和2年度も収蔵品の拡充をはかることができ、また、「年報」、「紀要」も計画通りに刊行した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

世田谷美術館では、1986年の開館以降、区立小中学校との連携を深め「美術鑑賞教室」を実施してきたが、感染症の影響によって、令和2年度は、全面的に実施を見合わせる結果となった。また、成人を対象とする「美術大学」も中止を余儀なくされた。

事業のほぼ全面的見合わせを受け、世田谷美術館では、積極的にオンラインによるデジタル・コンテンツ(動画など)の制作を開始。内容はアーティストによる実技講座、美術館を舞台にした子ども向けコンテンツ、小学校の授業で活用していただく動画コンテンツ、パフォーマンス・アーツの記録映像などと幅広い。また、Webによるオンライン出張授業を、希望学校で実施するなど、子どもから成人までの各年代を意識し、Webを活用した事業展開をはかった。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

世田谷区在住、在勤、在学、そして川場村の皆様まで範囲を広げて開催してきた「区民絵画展」、「区民写真展」も、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。これらの事業については代替できる方策もなかったが、当館ホームページで配信する、デジタル・コンテンツのアーティストによる実技講座の配信により、創作への関心を喚起し、区民の日常生活に表現というものが寄り添う支援を行った。

区民ギャラリーの利用についても、感染症の影響によって、利用申込者からの辞退が相次いだ。年度後半からは、世田谷美術館の感染症対策にも信頼をいただき、徐々に利用頻度も回復し、館と利用者が共通した安全意識を共有することで、安定的な運営を行っている。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

地域と交流を深めるために、例年開催している「さくら祭」、また「用賀サマーフェスティバル」、「緑化まつり」などについては、すべて、新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となり、たいへん残念な状況となっている。

また、区内の大学との連携についても、感染症対策の一環として大学側も授業自体をリモート化していることから、全面的に事業を実施することができなかった。しかし、大学の担当教員などとの連絡・調整は継続しており、今後、社会状況が好転した場合の準備を進める一年間となった。

また、企画展事業と連動させるかたちで、玉川高島屋、成城コルティなどの商業施設とのコラボレーションも、本年度は実施できなかった。

しかし、アンケート調査からは、7月から8月にかけて実施した「作品のない展示室」には、区内からの来館者、また学生年代も多く来館し、世田谷美術館の建物、そして砧公園という当館をとりまく環境を楽しんでいただくことで、世田谷美術館に親密な心情をいただいていたことがわかった。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

令和2年度は、Webを活用した情報が、人々の暮らしの一端を支える重要な一年間になったとの印象を得ている。「With コロナ」という言葉とともに、在宅勤務、巣籠りといった行動が多くなることで、Web上での情報発信は、以前にまして重要な意味をもちはじめた。

世田谷美術館でも、こうした状況を鑑み、ホームページを通じて、さまざまな動画、音声コンテンツの配信を、積極的に展開した。全国的にみても、その質量は他館をはるかにしのぐものとなっている。

美術館、博物館という、いわゆるホンモノを鑑賞し、研究する場ではあることは普遍的なことだが、現状に対応するための、最善の努力を継続したい。

〈世田谷文学館〉

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

令和2年度の展覧会は、新型コロナウイルス対策による当初計画の大幅な改変を余儀なくされ、「安野モヨコ展 ANNORMAL」「没後10年 井上ひさし展」「あしたのために あしたのジョー！展」を開催した。

当初4月開催予定だった「安野モヨコ展 ANNORMAL」は緊急事態宣言が明け、館内の受け入れ体制を整えて7月からの開催となった。事前予約制を導入し、会場内は密にならない観覧者数を設定し、検温・消毒を徹底した運営を行った。リアルイベントの実施もかなわず、また本来ならば全国各地からお越しいただいたであろうファンの方々が東京都を訪れることが困難な状況にあり、想定した来館者数には達しなかったが、この状況下に1万人を超える来館者をお迎えすることができたことは喜ばしい。

10月開催の「井上ひさし展」は奇跡的に状況が好転していた時期でもあり、通常運営に戻しての開催を試みた。文学展は比較的ゆっくりご覧いただける来場者数のため、空間設計に留意しながら、文字投影など、ディスタンスを確保してじっくり作品を鑑賞できる仕掛けを施すことで好評を得た。

「あしたのジョー！展」は当初、東京2020大会の関連企画として準備をしていたが、翌年の実施を見据えて、会期を2021年1月開催に変更した。スポーツ漫画の金字塔である本作の直筆原稿を間近でご覧いただくことに徹した本展は、原作者と漫画家の文字どおりの死闘により生み出された作品の迫力をストレートに伝え、世代を問わず多くの方に感動をお届けすることができた。また、「安野モヨコ展」、「あしたのジョー！展」は会場写真撮影可としたことも満足度を高める要因となり、今後もこの傾向は続くと予測される。

コレクション展は、開館以来不動の人気を誇る「ムットーニのからくり劇場」と、作品の題材となっている作家の資料によるコラボレーション展示を行った。からくり劇場の鑑賞で人数制限を行う必要があり、事前予約制を取り入れての運営となった。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

当館の基幹事業である「どこでも文学館」は、この状況下でほぼ例年どおりの実績となった。出張展示は区内施設の閉館時期などもあって上半期は活動が厳しかったが、下半期は依頼が増え、日ごろから気軽に楽しんでいただける展示方法が功を奏し、44会場で年間利用者数11万人を超えた。「いつでもどこでもだれでも」をモットーに活動してきた本事業は、どんな状況においても強くたくましい事業に成長していたことを証明した。さらに新規の展示キットを2本製作し、今後の活動に向けて強化を図っ

た。

ワークショップはリアルでの実施が困難となり、急遽、オンラインを検討し、可能な限り実施した。本来ならば空間を共有して実施することが前提となったプログラムでも、オンラインによる新しい効果も生まれ、子育てや介護などで外出が難しい方でも、オンラインであれば参加可能となり参加者の幅を広げることができた。また、密の状態を避けながら、少人数の小説ワークショップは当館会場でも実施し、リアルとオンラインを組み合わせ、多彩なプログラムを実現できる可能性を見出すことができた。

また、リアルイベントが組めない状況のなか、ライブラリー「ほんとう」で平成29年から実施してきた各界で活躍する方々にテーマごと選書していただく「本と輪 この3冊」を、ホームページ上での公開を開始した。

1 階ロビーでは6月から翌年3月まで、区内図書館とのコラボレーション企画「馬のライブラリー」を開催した。東京2020大会で世田谷が馬術競技の開催地となったことを記念して、区内図書館職員の方々のコメント付きの推薦図書を紹介した。図書館との連携で文学館ならではの企画が実現し、今後も続けていきたい試みとなった。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

本年度は、当館10万点を超える資料から主要なコレクションをひろく情報提供するべく準備していた、ホームページ検索が本格稼働した。第一弾は、森鷗外関連資料を公開し、次年度に向けて、植草甚一関連資料を準備することができた。

なお、年間カレンダー、世田谷文学館ニュースの発行など、度重なるスケジュール変更に対応しづらい印刷物は限られたものになったが、一方、長年の課題であったホームページのリニューアルに着手することができ、新鮮な情報を迅速に伝える仕様に変更した。本格稼働は令和3年度からとなり、世田谷文学館の特徴を生かした、使いやすいホームページの運用を今後も目指したい。

当館はSNSを活用した情報発信を積極的に行っており、特にツイッターのフォロワーが急増している。多彩なツールを活用して、世田谷文学館と利用者をきめ細やかにつなぐ取組みに、今後も力を尽くしていく。

2. 事業実績

(1) 世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
デザイン・ アートの展 示	世田谷クロニクル 1936-83 (映像アーカイブ2019)	【臨時休館(3/31～6/15)のため会期中に閉会】(計画会期 ～4/5) 世田谷区内の個人宅に眠る8ミリフィルムを集め、84巻をデジタルアーカイブ化した、「穴アーカイブ」5年間の活動成果を紹介する展覧会。	(3月14日～3月29日)	(無料)	—	400	ワークショップ ルーム、生活工 房ギャラリー
	【オリンピック・パラリンピック 関連事業】 火と人展	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期 7/10～24) 東京2020大会の聖火が駒沢オリンピック公園をスタートし、都内を巡る期間に 合わせ、100万年にわたる火と人間のかかわりを暮らしや環境、人のつながりなど 多様な切り口で考察する展覧会。	—	—	—	1,000	ワークショップ ルーム、生活工 房ギャラリー
	渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり	しめかざり研究家の森須磨子氏が20年をかけてリサーチした、全国各地のしめ かざり100点以上を展示し、その造形美とともに、背景にある人々の願いや智慧、 多様な風土を紹介する展覧会。	11月28日～ 12月27日	無料	9,729	4,000	ワークショップ ルーム、生活工 房ギャラリー
	ポーランド ヤノフ村の絵織 物	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期 3年2/20～3/14) ポーランド東北部の小さな村に18世紀から伝わる絵織物を展示し、そこに描か れた自給自足の生活の様子を通じて、人間本来の暮らしの営みに思いを巡らす 展覧会。	—	—	—	4,000	ワークショップ ルーム、生活工 房ギャラリー
	【生活工房ギャラリー2020】	地域の暮らしから異文化理解まで、幅広いテーマの展示事業を、生活工房 ギャラリーで実施。関連してトークイベントやワークショップも開催。					
	【米国ホストタウン関連事業】 ①アメリカン・トイズ since 1920s —暮らしと時代を映す 玩具展	【新型コロナウイルスの影響により3年度に延期】(計画会期 5/2～7/12) アメリカ北東部を中心に、1920～80年代に製造された玩具200点超を展示し、 古き時代のアメリカの精神性や生活文化の変遷に触れる展覧会。	—	—	—	3,000	生活工房ギャラ リー他
	生活工房アーカイブ展	【代替事業】 ドキュメントムービーやポスターなど、生活工房がこれまでに行ってきた事業の アーカイブ資料を、3期に分けて展示紹介。	6月17日～9月6日	無料	4,567	—	生活工房ギャラ リー
【オリンピック・パラリンピック 関連事業】 ②1964年のホームステイ	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期 7/18～9/13) 1964年の東京オリンピック当時、宿泊施設不足を解消するための「民泊事業」 に協力し、個人宅に外国人を受け入れた家庭に取材し、現代の多文化共生に つながる市民の体験を伝える展覧会。	—	—	—	3,000	生活工房ギャラ リー他	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
デザイン・ アートの展 示	③大平農園と畑のレシピ帖	【新型コロナウイルスの影響により会期を変更】(計画会期 9/19～10/18) 世田谷区尾山台に400年続く有機農家の畑を通して、世田谷の農業の歴史や四季・土壌の微生物・動植物・人の円環を学び地域の食文化を考える展覧会。	3年3月2日～ (6月27日)	無料	3,363 (～3月31日)	3,000	生活工房ギャラ リー他
	④生活工房バックヤード展	【代替事業】 生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動式展示コーナーを活用した展示。	3年1月23日～ 2月21日	無料	2,875	—	生活工房ギャラ リー他
ワーク ショップ・ 講座	【セミナー・ワークショップ シ リーズ】	暮らしの中に新しい学びや気づきをもたらすセミナー・ワークショップのシリー ズ。					
	①日常を見限らない Vol.3 音風景のワークショップ	研究者やアーティストとともに五感をフル活用し、生活の中で起こっていることと 丁寧に向き合う方法を学び・体験することで、見落とされた無数の出来事を味わ い直すワークショップ・シリーズ。本年は「音風景」をテーマに実施。	11月1日、21日	トーク:1,000 WS:2,000	43	70	ワークショップ ルーム
	②哲学対話 パラシフⅢ	哲学概念(ものの見方)について、哲学者や参加者と対話をしながら学ぶこと で、自らの既存の知識や世界観をアップデートすることを目指す哲学対話シリー ズ。本年度は精神科医松本卓也氏を迎え「翌日の医者」、「死ぬこと／生き延び ること」をテーマに開催。	3年3月27日、28日	各回3,000	47	40	ワークショップ ルーム
	③穴アーカイブ2020	【新型コロナウイルスの影響により内容を一部変更】 世田谷区民が撮影した8ミリフィルムのアーカイブをWEBで公開するほか、多世 代が集う「アカカブの会」を継続開催。上映会の代わりにハガキを介して自宅から 参加する特別編を実施した。	通年	無料	10	100	—
	④GAYA(穴アーカイブ アウト リーチ)	【新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催】 特定非営利活動法人remo(記録と表現とメディアのための組織)、およびアー ツカウンシル東京との三者共同により、「穴アーカイブ」を活用して生活圏に根ざ した声を拾う事業。	通年	無料	56	100	オンライン
	朗読講座「豊かなことばの世界」	【臨時休館(3/31～6/15)のため日程を変更】(計画日程4月、7月、12月、2月) 文学作品の朗読を通じて「ことば」のもつ力や自分自身の表現力の向上、朗読 活動の一助となる機会を提供することを目的とし、NHK放送研修センターとの 提携により実施する。	7月、12月、2月	20,500～18,500	480	240	セミナールーム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
子どもワーク ショップ	【こどもワークショップ2020】	幼児から小学生を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。					
	①夏の子ども”テレ”ワーク ショップ「日常探検LABO～ 時間のフシギ編～」	【新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催】 日常の中にひそむ不思議を探求するワークショップ。日常を科学の視点から観察・実験・考察し、工作も楽しむ。子どもたちが在宅で参加できるプログラムに変更した。	7月～9月	1,000	45	30	オンライン
	②チリメンモンスター調査隊	【新型コロナウイルスの影響により中止】 チリメンジャコの観察・分類・図鑑を使った調査を通じ、暮らしと自然環境のつながりを体験するワークショップ。	—	—	—	100	ワークショップ ルーム他
	③おはなしいっぱい 第47回世田谷おはなしネット ワーク講演会『サっちゃん』の 詩人 父・阪田寛夫を語る	【新型コロナウイルスの影響により日程を変更し会場とオンラインで同時開催】 講演会のみ実施した。幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体をネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話し会。活動団体のネットワーク構築と活性化を支援する。	10月29日	100	会場 48 オンライン 44	1,460	セミナールーム、 オンライン
	【中学生体験ワークショップ 2020】	10代を対象に、専門家を講師とするワークショップや講演を通じ、モノづくりの本質やいろいろな生き方に触れる機会を提供する。					
①14歳のワンピース	【新型コロナウイルスの影響により日程を変更】(計画日程 7月) ファッションデザイナーによる実践的ワークショップ。多感な14歳の心模様を言葉の起点に色や形で表現し、布にプリントする。後日、仕立て上がったワンピースを着て撮影会も行う。	3年3月26日、27日、 28日、(4月25日)	4,000	11	100	ワークショップ ルーム	
②10代に向けたセミナー OriHimeで会いにゆく	【新型コロナウイルスの影響により会場とオンラインで同時開催】 10代の子どもたちが、仕事や夢の実現に向かう若い先輩世代の多様な生き方や柔軟な発想に触れることができる講演会。	12月13日	500	会場 42 オンライン 54	100	セミナールーム、 オンライン	
人材育成 プログラム	インターン生の受け入れ	【新型コロナウイルスの影響により大学との協議のうえ中止】 昭和女子大学、産業能率大学などのインターン生を受け入れ、コミュニティと交流について事業の現場体験の場を提供する。(2回)	—	—	—	2	—

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
区民の表現の場の提供	第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表展 [区受託]	「未来に伝えるせたがや今ばなし」 世田谷区芸術アワード“飛翔”「生活デザイン」部門受賞者による展覧会。予定を変更し、ワークショップを郵送とオンラインに切り替えて実施し、そのプロセスと成果物を展示した。	10月24日～ 11月22日	無料	展覧会 2,491 WS:30	—	生活工房ギャラリー他
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、関連ブログなどを掲載し、情報を発信する。SNS (Twitter、Facebook、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。 大幅に機能改善を行い、「生活工房マガジン」をスタートさせる等、新たなかたちでの情報発信を開始した。	通年	—	—	—	—
	季刊「生活」(生活工房イベントガイドのリニューアル版)の発行	事業の告知に加え、生活工房の魅力を伝えるコンテンツを掲載し、四半期ごとに発行する。(4回) 7・8・9月号については特別号として編集し、会期半ばで終了した展覧会のレポートを掲載するなど、新たなかたちでの情報発信を開始した。	6月・9月・12月 ・3年3月発行	—	40,000部	各10,000部	—
	生活工房「アニュアルレポート2020」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。(1回)	3年3月発行	—	1,500部	1,500部	—
	生活工房モニター制度の実施	来館者のアンケート分析と、一定の来館者層を想定したグループヒアリング等の手法による調査を行い、施設の活用促進、新たな参加者層の開拓のための事業企画や広報につなげる。 予定を一部変更し、グループヒアリングは行わず、アンケート集計、分析を行った。	7月～3年3月	—	—	—	—
国際交流・異文化理解の推進	【米国ホストタウン関連事業】 アメリカン・トイズ since 1920s —暮らしと時代を映す玩具展(再掲)	【新型コロナウイルスの影響により3年度に延期】(計画会期 5/2～7/12) アメリカ北東部を中心に、1920～80年代に製造された玩具200点超を展示し、古き時代のアメリカの精神性や生活文化の変遷に触れる展覧会。	—	—	—	3,000	生活工房ギャラリー他
	ポーランド ヤノフ村の絵織物(再掲)	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期 3年2/20～3/14) ポーランド東北部の小さな村に18世紀から伝わる絵織物を展示し、そこに描かれた自給自足の生活の様子を通じて、人間本来の暮らしの営みに思いを巡らす展覧会。	—	—	—	4,000	ワークショップルーム、生活工房ギャラリー

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
市民活動 支援	世田谷アートフリマ2020	区内のアーティスト、クラフト作家等に創作活動の発表、販売、および区民との交流の場を提供する、区民参加型イベント。					
	①世田谷アートフリマ	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画日程4月、9月) 創作発表、販売の場として、フリーマーケットを春と秋の年2回、地元大学の学生ボランティア等の協力も得て開催。	—	—	—	12,000	ワークショップ ルーム、セミナー ルーム他
	②世田谷アートフリマ つな がり展2020	【新型コロナウイルスの影響により会期を変更】(計画会期4/11~26) 世田谷アートフリマ参加作家による作品展。春季フリマに合わせ開催の予定だったが、秋に変更して実施した。	9月12日~10月11日	無料	2,142	750	生活工房ギャラ リー
	市民活動支援コーナーの運 営	区内を中心に活動する市民活動団体の活動場所等の提供と、市民活動の活性化を図るための事業を実施。					
	①市民活動支援コーナーの 運営	【臨時休館中(3/31~6/15は休業。再開後は新型コロナウイルスの影響により内容を一部変更) 世田谷区の定める施設ガイドラインに沿い、時間・定員等を変更。コーナーのうちフリースペースは休止。 市民活動団体の活性化を目的に、打合せの場やプリントアウトスペースなどの場を提供。コーナーの運営は市民活動団体に委託。	7月~3年3月	—	6,246	20,000	市民活動支援 コーナー
	②市民活動団体支援事業	【新型コロナウイルスの影響により内容を一部変更】 区内の市民活動団体の発展と活性化を図るための事業を展開。 a.市民活動相談事業の実施 b.市民活動団体支援講座 c.市民活動団体支援講座【区受託】 以上3項目のうちb.のみ、コロナ禍の市民活動をテーマに実施した。	3年3月6日、14日	各回1,000	21	160	ワークショップ ルーム
③パオフェスタ2020	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画日程10/17、18) 市民活動支援コーナーを広く紹介する目的で、「世田谷アートタウン 三茶de 大道芸」実施に合わせ、登録団体の出展によるイベントを開催。	—	—	—	600	市民活動支援 コーナー	
④市民活動支援コーナーの 日々展2020	【新型コロナウイルスの影響により3年度以降に延期】 日頃から市民活動支援コーナーを利用している団体が活動の成果を発表する 展覧会。	—	—	—	750	生活工房ギャラ リー他	

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
国内演劇 創作事業	【オリンピック・パラリンピック 関連事業】 白井晃演出作品 『ある馬の物語』	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 6月～7月/20回) 原作:レフ・トルストイ 演出:白井 晃 本作はロシアの文豪トルストイによって19世紀後半に書かれた小説を戯曲化し、人間という愚かな生き物と聡明な馬とを対比させることで、「生きることは何か?」という、普遍的なテーマを問いかける作品。	—	—	—	10,030	パブリックシアター
	栗山民也演出作品 『殺意(ストリップショウ)』	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 作:三好十郎 演出:栗山民也 出演:鈴木 杏 舞台芸術界を牽引する演出家 栗山民也により、近代日本演劇を代表する劇作家 三好十郎による一人芝居『殺意(ストリップショウ)』をシアタートラムで上演した。 昭和初期から戦中・戦後にかけて活躍し、多くの著作を残した劇作家として絶大な筆力を見せつける三好十郎(1902-1958、代表作「胎内」「浮標」「炎の人」(読売文学賞))による、女優の一人芝居。演出に、読売演劇大賞を受賞するなど他の追随を許さない日本演劇界の巨匠 栗山民也。主演に読売演劇賞最優秀女優賞を受賞(2016年)し、たぐいまれなる実力と魅力を併せ持つ鈴木杏により、現代に新たな形でよみがえる作品。(14回)	7月11日～26日	6,000～3,000	1,316	2,400	シアタートラム
	芸術監督企画 『MANSAI ◎解体新書 その参拾壱』	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 能、狂言などの伝統芸能がもっている技、精神、構造などを芸術監督の野村萬齋が毎回様々なジャンルからゲストを招き、実演、トークセッションなどを通じて解き明かすシリーズ31回目の開催。現在注目を集める講談師・六代目神田伯山をゲストに、『『伝』～語と読に通底するもの(トランスバーサル)～』をテーマとした。	9月30日	5,000～2,500	300	600	パブリックシアター
	森新太郎演出作品 『エレファント・マン』	世田谷パブリックシアターは古今東西の傑作と言われている骨太な戯曲を、今日的な視点から新演出で上演し、次世代へ継承していくことを眼目におき、森新太郎に演出を継続的に託し、挑戦的な作品を上演してきた。そのシリーズの第6弾。今回は東京グローブ座と共催した。 若手筆頭と言われながら、既に日本演劇界を代表する演出者の一人でもある森新太郎による、演劇的ダイナミズムあふれたクオリティの高い作品を創出した。(31回)	10月27日～ 11月23日	8,500～2,100	17,885	9,971	パブリックシアター
	現代能楽集Ⅹ 『幸福論』～能「道成寺」「隅田川」より	作:長田育恵(式「隅田川」)・瀬戸山美咲(老「道成寺」) / 演出:瀬戸山美咲 / 監修:野村萬齋 就任以来、数々の企画を立ち上げてきた芸術監督・野村萬齋が、シリーズとして企画・監修する「現代能楽集」。能狂言の謡曲を土台にした現代演劇を劇作し、新作創作を行うこの企画の第10弾である。近年、読売演劇賞作品賞・演出賞を立て続けに受賞している気鋭の演出家・瀬戸山美咲と、鶴谷南北戯曲賞受賞・岸田國土戯曲賞候補などたぐいまれな筆力でいま最も旬な劇作家・長田育恵を招き、今を生きる私たちのための現代演劇を創作した。人々の幸福とは何か、現代日本がかかえ、乗り越えていくべき個人と家族の問題を、女性演劇人ならではの視点で描き出した。(25回)	11月29日～ 12月20日	7,500～3,750	2,881	3,840	シアタートラム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
国内演劇 創作事業	芸術監督企画 『子午線の祀り』	【新型コロナウイルスの影響により3回を定員の50%を上限として開催】 作:木下順二 / 演出・出演:野村萬斎 / 音楽:武満 徹 2017年に芸術監督 野村萬斎の演出・出演で上演し、その年の読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞するなど好評を博した『子午線の祀り』を、戯曲の芯をとらえ直し、ダイナミックかつテンポ感を増した2021年版として新たに生まれ変わらせた。 木下順二の筆による本作は「平家物語」に題材をとり、日本の演劇史上に確たる叙事詩劇として位置づけられている傑作。芸術監督萬斎のライフワークの一つでもあり、世田谷パブリックシアターのレパートリー作品としても受け継いでいきたい、近現代戯曲の遺産たりうる作品となった。(11回)	3年3月19日～30日	8,500～2,500	4,257	6,678	パブリックシアター
		【神奈川】KAAT 神奈川芸術劇場 ホール(6回)	3年2月21日～27日	8,500～1,000	1,767	—	ホール
		【愛知】日本特殊陶業市民会館ビレッジホール(2回)	3年3月3日～4日	10,000	471	—	ビレッジホール
		【福岡】久留米シティプラザ ザ・グランドホール(2回)	3年3月7日～8日	8,500	1,260	—	ザ・グランドホール
		【兵庫】兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール(3回)	3年3月13日～14日	8,500	1,374	—	中ホール
	作品創造研究	【新型コロナウイルスの影響により中止】 オリジナルの新作戯曲や国内で未紹介の海外戯曲など、次年度以降の上演の可能性を探るため、調査研究の一環として海外戯曲の翻訳を行う他、新事業のための演目研究を実施する。	—	—	—	—	—
	実演家(劇作家、演出家)の作業場	【新型コロナウイルスの影響により中止】 作品を生み出すための、劇作家および演出家の創作ワークショップ。劇作家が劇の主題や手法を探ったり、演出家が実演者と作業しながら試行錯誤する場を提供する。また、創作の進展に応じて、座内での披露、関係者や一般客を招いてのリーディングなど、発表の場を設け、作品創造過程を客観的にふりかえる機会をもたらす。	—	—	—	—	稽古場他
こどもプロジェクト	こどもプロジェクト2020① 子どもとおとなのための◎読み聞かせ 「お話の森」	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】(開催計画 8月) 舞台をはじめ映像や音楽の分野で活躍しているアーティストが、子どもたちの目の前で絵本の読み聞かせをおこなった。舞台にはスクリーンを設置し、絵本を大きく映し出すとともに、音楽や演奏、トークもまじえ、劇場での楽しい一日を演出した。 はじめて劇場へ来る人にも、来たことがある人にも楽しんでもらえるような、充実したプログラムを提供することができた。	10月3、4日	2,500～500	627	1,000	パブリックシアター
		【長野】まつもと市民芸術館(1回)	11月21日	1,500～500	148	—	小ホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
こどもプロジェクト	こどもプロジェクト2020② フォルモサ・サーカス・アート (FOCA) 『悟空～Before the Journey to the West～』	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 8月) アジア随一の現代サーカスカンパニー、フォルモサ・サーカス・アート(FOCA)を台湾より招聘し、人気作の『悟空』を上演。 日本でもよく知られる孫悟空の物語を、アクロバット、ジャグリング、エアリアルなどのサーカステクニックと、ストリートカルチャー、演劇、ダンスなどをミックスさせた独自の演出手法に加え、台湾の伝統音楽を用いた迫力あるパフォーマンスで大胆に表現する。	—	—	—	1,000	パブリックシアター
	こどもプロジェクト2020③ 新寄席企画「せたがや夏いちらくご」	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 劇場開場時から多彩な寄席企画を実施し、様々な観客を招き芸能の魅力を伝えている寄席のシリーズ企画を、客層の裾野を広げ、こどもから大人までが寄席のにぎわいを楽しめる、より趣向を凝らしたプログラムへと進化させ、「こどもプロジェクト」の一環として実施した。 古典落語を扱いつつも現代の風刺を取り入れ現代風に大胆アレンジする作風と、とっつきやすい語り口で幅広い年齢層から多くの支持を集める春風亭一之輔のプロデュースとした。(2回)	8月8日、9日	5,000～2,500	451	1,020	パブリックシアター
	こどもプロジェクト2020④ 「日野皓正 presents "Jazz for Kids"」	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 8月15日、16日) 劇場発信による、大人から子どもまで幅広い客層をターゲットとするジャズコンサートを世田谷パブリックシアターにおいて実施する。世界的なジャズトランペッター日野皓正がオーガナイズし、未来を担う子どもたちとその家族に一流のジャズを提供する。また、「ドリームジャズバンドワークショップ」と連携し、同ワークショップから生まれたドリームジャズバンドが成果発表を行う。	—	—	—	800	パブリックシアター
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・三東瑠璃カンパニー ・康本雅子 ・大駱駝艦 ・イデビアン・クルー 【新型コロナウイルスの影響により中止】 <ul style="list-style-type: none"> ・山海塾 ・ニブロール ・スズキ拓朗 	7月～3年3月	5,500～1,000	2,575	5,400	パブリックシアター/シアタートラム
音楽公演	音楽提携公演	区民に芸術性に優れた音楽の鑑賞機会を提供し世田谷区の文化振興を図るため、優れた音楽グループ等と提携して音楽コンサートを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・古武道「古武道新年会 Vol.6 ～初春の狂詩曲(ラブソング)～」他。 (新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催)	通年	7,500～2,000	390	450	パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
提携公演	演劇提携公演	<p>気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。</p> <p>【パブリックシアター公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シス・カンパニー ・こんにやく座 <p>【シアタートラム公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団かかし座 ・木ノ下歌舞伎 <p>【新型コロナウイルスの影響により中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル ・ティーファクトリー ・国際演劇協会 	7月～3年3月	12,000～1,500	19,770	23,000	パブリックシアター/シアタートラム
コミュニ ティプロ グラム	演劇・ダンスワークショップ	<p>【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】</p> <p>地域の人々が、気軽に参加できるプログラムから、深く取り組むことのできるプログラムを提供した。</p> <p>①「単発ワークショップ」1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ(以下「WS」と略)。「デイ・イン・ザ・シアター」(23コース、30回)</p> <p>②「テーマ別ワークショップ」地域の課題等に演劇的手法を活用してアプローチしたり、劇場へのアクセスが阻まれている対象を設定して実施するワークショップ。「あかちゃんのためのWS」(4コース、4回)「今を考えてカタチにする、学生のための演劇WS」(5回)</p>	①6月17日～ 3年3月25日 ②9月11日～12日	500	延300	666	稽古場他
	子どものためのワークショップ	<p>子どもを対象に、劇場内外を問わず演劇やダンスのワークショップを実施する。</p> <p>【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】</p> <p>①「長期休暇中のWS」子どもたちが参加しやすい学校の長期休暇に合わせたWS。(17コース、51回)</p>	8月3日～21日	1,500	延437	841	稽古場他
		<p>【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】</p> <p>②「世田谷パブリックシアター演劇部」年間を通じて、じっくり演劇やダンスに取り組みたい中学生を対象に、1年を通して作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は中学校演劇発表会等で発表する。(4コース、10回)</p>	9月20日～ 3年2月21日	500	延108		
		<p>【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】</p> <p>③その他単発WS:子どもの年齢で対象を区切らないWS、不登校の中学生に向けたWS等予定。①②の内容を展開しつつ社会的事象に応じていくような内容とする。「団地プロジェクト」「学生のためのワークショップ」</p>	11月4日～3年2月3日	2,500～300	延74		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
コミュニ ティプロ グラム	地域の物語	【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】 区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに、取材をしたりする過程を通じて、自分たちの住む社会・暮らし・地域・そしてそこに住む市井の人々について思考するワークショップを3ヵ月かけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアタートラムにて広く地域の観客に向けて上演する。(3コース、11回)	8月1日～3年3月21日	6,000	参加者 延164 発表会 108	参加者 440 発表会 300	稽古場/シアター トラム他
	ドリームジャズバンド・ワーク ショップ	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 4月～8月/WS20回) 校長にジャズトランペッター日野皓正を迎え「ドリームジャズバンドワークショップ」として演奏の技術のみならず、芸術の魅力を体験するワークショップを行う。卒業生の参加も含めワークショップの内容もより一層充実させ、コンサート「日野皓正 presents "Jazz for Kids"」との連携において、ワークショップの成果をパブリックシアターで発表する。	—	—	—	50	池尻小学校第二 体育館/パブリッ クシアター他
学校その 他区内施 設との連 携プロ グラム	学校のためのワークショップ	世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の2事業を実施した。 【新型コロナウイルスの影響により回数を削減】 ①『ワークショップ巡回団』:「教科に活かすWS」進行役やアーティストが学校へ出向き、演劇的手法を用いた演劇WSを実施する。教科の学びに活かしていくために、内容は教員と相談をしながら決定した。(49回) 【新型コロナウイルスの影響により中止】 ②『先生のためのワークショップ』:小中学校の先生が授業で活用するためのヒントとなるようなワークショップや事業報告会を年間を通じて劇場内外で実施。	①6月～3年3月	無料	延1466	6,230	世田谷区内の各 小中学校/稽古 場
	中学校演劇部支援	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 通年17回) 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部の活動支援を行う。	—	—	—	170	世田谷区内各小 中学校/区民會 館他
	区内施設連携プログラム	【新型コロナウイルスの影響により回数を削減】 非営利の区内施設/団体(児童館、世田谷ボランティアセンター、障害者支援施設、病院等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップを、当該施設/団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施した。また、特別な支援を必要とする人々に対してワークショップを劇場稽古場もしくは区内施設で展開した。「下馬地区アートプロジェクト」(10回)	10月7日～ 3年3月25日	無料	延95	245	世田谷区内の施 設/稽古場
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画6月/12回) 世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各地の区民會館にて狂言の公演と、公演を楽しむためのワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。	—	—	—	5,700	砧、世田谷、烏山 区民會館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
学校その他区内施設との連携プログラム	教科「日本語」 [区受託]	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 2回) 教育委員会が実施する教員向け研修として、夏季教科等研修事業のうち、以下の科目を受託し実施する。 ①演劇などを活用した表現活動 ②教科「日本語」	—	—	—	30	世田谷区内各学校他
	移動劇場「@ホーム公演」	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 6月/15回) 劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者はじめ、家族、職員、近所に住むかたがた。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品をつくり、見ている人たちの目の前で演じる。また、音楽的要素を加えて、演じる人も見る人も一緒に楽しめる作品をめざす。	—	—	—	950	区内特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設
研究育成プログラム	観客育成プログラム	地域住民及び観客を対象に、主催公演関連のワークショップや作品の分析・舞台芸術についての知識を深める企画を実施した。(開催計画 通年14回) ①世田谷パブリックシアターダンス食堂: 現役のダンサーを招き、その理念やメソッドに触れるワークショップ及びトークを、オンライン受講と組合せ実施した。	10月23日、12月7日	無料 500	オンライン 905 WS 17	265	セミナールーム/ ワークショップ/ オンライン他
		【新型コロナウイルスの影響により中止】 ②舞台芸術のクリティック: 舞台芸術に対し批評的な視点を獲得し、その視野を広めるレクチャー及びゼミ	—	—	—		
	専門家育成プログラム	【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】 学芸プログラムに興味のある大学生や進行役、研究者を対象に、人材育成を目的とした「SPTラボラトリー」を実施した。誰もが参加できる(オープンラボ)と、選抜された人々との〈演劇ワークショップラボラトリー〉から構成。いずれもレクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムとし、ラボ生がワークショップに参加するという形で実施した。(10回)	10月27日～ 3年2月18日	無料	延142	330	両劇場/稽古場/ セミナールーム/ ワークショップ ルーム他
舞台技術者人材育成プログラム	Technical Theatre Training Program 舞台技術講座	【新型コロナウイルスの影響により参加者数を制限して開催】 次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施した。初級編、中級編など段階ごとのプログラムを設けている。 ①舞台音響入門講座	8月25日	3,000	29	50	パブリックシアター
		②舞台照明入門講座	8月26日	3,000	30	50	パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
舞台技術者人材育成プログラム	Technical Theatre Training Program 舞台技術講座	③舞台技術安全講座	8月27、28日	3,000	延60	100	パブリックシアター
		④安全セミナー「電源管理について」、「オーディオネットワークDanteシステムについて」	3年1月24日、25日	3,000	延52	300	シアタートラム
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会の実施や、プラン・オペレートや機材等の支援を行った。	6月～3年3月	—	—	—	—
区民の表現の場の提供	フリーステージ	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 4/29～5/6) 音楽部門、バレエ・ダンス部門からなり、出演者は世田谷区民を中心とした文化団体から公募。区内のアマチュア団体に発表機会を提供し、地域の文化芸術活動の活性化を図る。	—	—	—	3,000	パブリックシアター/シアタートラム
	シアタートラム ネクスト・ジェネレーション vol.13 第6回世田谷区芸術アワード “飛翔”受賞記念発表公演 [区受託]	選出団体:パンチェッタ 世田谷区や関東圏を主な創作拠点とする若手舞台芸術アーティストによる自薦方式の公募企画。今年度でvol.13を迎えた。当企画は過去12年の実績で若手実演団体・実演家の登竜門的存在として認知されており、公募で選ばれた作品の上演を通して新しい才能と観客とが会う場を創造する。今年度は世田谷区芸術アワード “飛翔”受賞記念発表公演として実施した。(7回)	11月19日～22日	4,000～2,000	744	700	シアタートラム
地域活性化のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2020 「三茶de大道芸」	【新型コロナウイルスの影響により事業内容を変更】 三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施。会場を商店街から世田谷パブリックシアターの劇場施設に変更し、人数を制限したうえで大道芸のパフォーマンス等を実施した。2日間開催(文生センター全体事業)	10月17日、18日	無料	347	200,000	パブリックシアター
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報・宣伝活動を通じて、世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知し、地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動とともに、マスコミへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信により、主催事業への集客を図り、財団の収益性の向上に資する活動を行った。新型コロナウイルスの影響による状況変化に対応し、紙媒体を縮小しウェブ媒体に重点を置いて実施した。	通年	—	—	—	—
	学芸共通広報宣伝	学芸で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体を中心に展開した。	通年	無料	2000部	—	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行した。今年度は2019年度の事業を報告するための冊子を作成。	10月	無料	400部	1,000部	—

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
海外招聘・ 国際共同 制作	【先導的共生社会ホストタウン 関連事業】 海外招聘公演 デフ・ウェスト・シアター 『オルフェ』	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画 4月/4回) 日本財団との共同主催により、アメリカの聴覚障害者を中心に設立されたデフ・ウェスト・シアターを招聘する。 アメリカ・ロサンゼルスを拠点に、聴覚障害者を中心に設立されたデフ・ウェスト・シアターの作品は、障害の有無にかかわらず、こどもから大人まで幅広い観客層にアピールする優れた演出手法で注目を集めている。さまざまなテーマの作品を上演している同劇団の新作舞台作品を上演することで、日本では紹介実績の少ない、新たな芸術表現に触れる機会を提供する。	—	—	—	720	シアタートラム
	世田谷アートタウン2020関連 企画 海外招聘現代サーカス オクトーブル 『Midnight Sun/真夜中の太陽』	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画10月/3回) 「三茶de大道芸」期間中に映像上映、オンラインワークショップを実施。 一般市民が街中で気軽に楽しめる大道芸フェスティバル『三茶de大道芸』と併せて劇場での現代サーカス公演を行うことで、普段は劇場に馴染みのないフェスティバルへの来場者や近隣住民にも広く劇場の存在をアピールすると共に劇場公演の楽しさや優れたパフォーマンスを味わう機会を提供することを目的とする。 フランス・トゥールーズを拠点に活動し、ヨーロッパ中で人気を誇る現代サーカスのカンパニー、オクトーブルを招聘し、最新作の『Midnight Sun/真夜中の太陽』を上演する。	—	—	—	1,000	パブリックシアター
		カンパニー・オクトーブル「現代サーカス オンラインワークショップ」(1回)	10月13日	1,000	4	6	オンライン
		カンパニー・オクトーブル『Midnight Sun/真夜中の太陽』映像上映会	10月17日、18日	無料	延38	40	ワークショップ
	海外招聘公演 日・スロバキア交流100周年 記念事業 劇団GUnaGU 『ウォッカとクロム』(仮)	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画12月/3回) 2020年はオリンピック・パラリンピックの開催年であること、また日・スロバキア交流100周年であることから、国際交流を推進すべく、スロバキアより日本ではまだあまり知られていない優れたカンパニーを招聘する。公演内容に関する歴史的史実についてのレクチャー等、関連事業も実施する。(12月/3回予定)	—	—	—	380	シアタートラム
【米国ホストタウン関連事業】 海外招聘舞踊公演 「Ate9(エイトナイン)」	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画3年3月/3回) アメリカ(ロサンゼルス)を拠点に活動するダンスカンパニーAte9の初来日公演。 世田谷区は、東京2020大会でアメリカのチームのホストタウンとなるが、スポーツ競技とはまた異なる、人間の持てる身体の芸術的な側面をダンス公演を通じて紹介する。振付のダニエル・アガミを中心に、躍動感あふれるダンス作品を展開する。生演奏による音楽とのコラボレーションは、ダンスに新たな表現力を付加し、日本の観客に、これまでにないパワフルなパフォーマンスに触れる機会を提供する。	—	—	—	1,000	パブリックシアター	

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
身近に親しむ演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露した。小編成のアンサンブル演奏を中心に関係者のみの公演として開催した。	10月11日	390	161	850	世田谷区民会館
	室内楽シリーズ	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。 ①一部出演者変更して、児玉麻里と菊池洋子のピアノ・デュオ ②須川展也のサクソフォンを紹介した。(開催計画5月)	①9月21日 ②3年2月23日	①4,000～3,600 ②3,500～3,000	①98 ②134	470	成城ホール
	シリーズ和・華・調	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】(開催計画6月) 第3回「静と動の響～笛・琵琶～」 日本の伝統音楽を、第一級の音楽家による演奏と、親しみやすい演出で堪能していただく公演シリーズ。今年度は、篠笛・能管と薩摩琵琶による演奏会を行った。定員が制限されたので、1日2回公演を実施した。	11月23日 (2回)	3,500～3,000	①128 ②120	240	成城ホール
	【オリンピック・パラリンピック 関連事業】 せたがやキックオフコンサート	【東京2020大会の延期に伴い中止】 東京2020NIPPONフェスティバル共催プログラムとして、Setagaya太鼓塾はじめ、さまざまな分野の音楽家を集めた「せたがやキックオフコンサート 和のこころ～Ring of Peace」を開催し、区民と共に2020大会に花を添える。	—	—	—	1,600	昭和女子大学人見記念講堂
活動をつなぐ演奏会	異分野とのコラボレーション	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 「天体と音楽」 池辺晋一郎音楽監督の企画公演。音楽とは関係なく思える分野で活躍するゲストを迎え、音楽にまつわるトークを交えながら進行する。天文学者・長谷川哲夫と「東京六人組」を招き、天体をめぐる音楽の世界を旅した。	3年3月6日	3,500～3,000	138	270	成城ホール
	せたがや名曲コンサート	【新型コロナウイルスの影響により中止】(開催計画3年2月14日) 世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団の共演による、年に一度、恒例の演奏会。実行委員会形式で実施。	—	—	—	1,320	昭和女子大学人見記念講堂
	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。世田谷美術館の講堂等で計3回開催した。	①7月26日 ②8月9日、③23日	無料	①100 ②50 ③90	未定	世田谷美術館講堂他

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金(円)	実績人数(人)	当初計画数(人)	実施(計画)場所
ワークショップ・講座	せたがや音楽研究所	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 「#12家族で音楽やってみた!!」 宮川彬良が、奇想天外かつ独自の解釈で、音楽を紐解く、バラエティ形式で贈る人気のコンサート。「家族」を切り口にして、展開した。	9月12日	3,000	236	600	世田谷区民会館
	【米国ホストタウン関連事業】 Let's Sing ゴスペル! 2020	例年人気を呼んでいるゴスペルを体験するワークショップを開催する。利便性や応募者のレベルを考え、コース別に開催する。全4回のワークショップのうち3回をオンラインに変更して開催。	10月8日～11月28日	8,000	77	未定	三茶しゃれなあどホール他 オンライン
		【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 ワークショップ参加者が、プロの音楽家と共演するゴスペル・コンサートを開催した。後半は、ゲストの歌手TiAのステージで締めくくった。	11月28日	1,500	197	710	世田谷区民会館
	【オリンピック・パラリンピック関連事業】 Setagaya太鼓塾	【新型コロナウイルスの影響により、内容を変更】 子どもたちに、音楽に興味をもち親しんでもらえる機会を提供。「キックオフコンサート」の中止を受け、代わりに「2020 FINAL CONCERT せたがや和の響演」をめざして、林英哲塾長指導のもと、6日間(2日間×3クラス)の和太鼓のワークショップを展開した。	12月9日～22日	2,500	40	70	世田谷区民会館
		【代替事業・新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 「2020 FINAL CONCERT せたがや和の響演」 Setagaya太鼓塾と太鼓塾を指導した林英哲、英哲風雲の会に加えて、東儀秀樹が出演し、工事休館となる世田谷区民会館に和の音色を響かせた。	12月25日	2,000	215	—	世田谷区民会館
次の時代のためのプログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。10周年を経て、運営方法の見直しを図っていく。	8月～3年3月	月額5,000	98	90	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会	【新型コロナウイルスの影響により、中止。代替事業】 1年間の活動の締めくくりとして開催する定期演奏会。改修工事中の本拠地・世田谷区民会館を離れて、大きな会場で開催の予定だったが、緊急事態宣言の延長により合奏練習を行うことができず、関係者のみの公開リハーサルという形で実施した。	3年3月26日	無料	282	850	昭和女子大学人見記念講堂
	学校へのアウトリーチ	【新型コロナウイルスの影響により中止】 学校と連携して、子どもたちが、本格的な演奏に触れ、音楽に親しみや興味を抱く機会を提供する。「せたがや音楽研究所」中学校出張公演などを行う。	—	—	—	700	区内中学校

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
区民の表現の場の提供	せたがやバンドバトル	【新型コロナウイルスの影響により中止】 バンド活動に励む区民から出場者を募り、区内の複数のライブハウスで予選を実施、決勝大会進出を競う。グランプリを決定し、表彰する。	—	—	—	80バンド	区内複数のライブハウス
		【新型コロナウイルスの影響により内容を変更し、定員の50%を上限として開催】 「せたがやバンドバトル FINAL LIVE」過去の出場バンドのライブと審査員・ゲストによるトークと演奏に形をかえて、実施した。	3年2月21日	1,800	137	300	玉川せせらぎホール
区民の表現の場の提供	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	【新型コロナウイルスの影響により各団体の判断で、定期演奏会は中止】 世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、3団体の活性化、発展を側面から支援する。コロナ禍における活動について、情報を共有した。	—	—	—	3団体	—
	第6回世田谷区芸術アワード “飛翔”受賞記念発表 [区受託]	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催】 「四時の歌 秋編 —ジャズ、いけばな、テクノロジー」 前年度に決定した、第6回「世田谷区芸術アワード“飛翔”」音楽部門の受賞者による演奏会。	11月14、15日 (3回)	3,800～3,500	224	200	シアタートラム
地域活性化のための文化プロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成バンドなどによるコンサートを実施する。5月16日に予定していた「まちなか」は、延期(3年3月13日)して、会場変更に伴い、人数を絞って実施。「まちかど」は、7月23日、8月10日に密を避ける形で実験的にキャロットタワー八角堂前のバルコニーで開催した。	①7月23日 ②8月10日 ③3年3月13日	無料	①100 ②400 ③43	2,000	①②街頭 ③深沢区民センター
	せたがや音楽プロジェクト	【新型コロナウイルスの影響により定員の50%を上限として開催。一部中止】 世田谷在住の音楽関係者が中心となり、地域から音楽文化を発信するため、多彩な事業を企画・開催する。6月6日に予定していた「オールド・アメリカン・ポップ・クラブ」は、9月26日に延期。3年2月7日「トーク&ライブ」は中止となった。	9月26日	3,000～2,700	121	500	北沢タウンホール
音楽事業部広報	「情報ガイド」をはじめとする各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。「せたおんイベント」は発行時期を4月から9月に変更した。	—	—	—	—	—
	「せたがや音楽通信」の発行 [区受託]	民間も含めた、区内の各種音楽会や施設情報などを掲載した「せたがや音楽通信」を季刊で発行し、音楽文化振興、区民の音楽活動を促進する。冊子を年3回計画していたが、Web版1回とした。	Web版のみ1回	—	—	年3回 各10,000部	—

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
市民活動 支援	せたがや国際交流センター の運営	【臨時休館(3/31～6/1)中は電話とオンラインで対応。施設は6/2にオープンした】 主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行うとともに、行政情報、生活・文化情報の他、国際交流などの地域活動団体の紹介を行った。施設のオープニングセレモニー、オープニングイベントは中止した。	6月～3年3月	—	1,895	1,200	せたがや国際交流センター
国際交流・ 異文化理解 の推進	区民国際交流事業	【新型コロナウイルスの影響により講演会に変更して実施】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施した。	12月19日	無料	第1部 87 第2部 86	—	成城ホール
		【新型コロナウイルスの影響により中止】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施する。	—	—	—	300	ワークショップ ルーム他
	国際交流ラウンジ	【新型コロナウイルスの影響により①～⑤全て中止】 世田谷区在住の日本人と外国人及び留学生が、言葉や文化の違いを超えたつながりを作る地域交流の場を提供する。	—	—	—	—	—
	①オリンピック・パラリンピックを語る	オリンピック・パラリンピックをテーマに、外国人と日本人それぞれが話し合う交流会を、世田谷まちなか観光メッセの中で実施する。	—	—	—	40	ワークショップ ルームまたはセミ ナールーム
	②衣食住を語る	留学生が、母国と日本の衣食住の比較をプレゼンテーションし、グループに分かれた参加者同士が、それぞれの考えを話し合う機会を提供する。	—	—	—	40	ワークショップ ルーム
	③コミュニケーションについて語る	留学生が、日本での生活の困りごとなどをプレゼンテーションし、グループに分かれた参加者同士が、それぞれの考えを話し合う機会を提供する。	—	—	—	40	区内大学
	④国々の祭り、イベントについて語る	留学生が、日本で参加したお祭りや母国のイベントなどについてプレゼンテーションし、グループに分かれた参加者同士が、それぞれの考えを話し合う機会を提供する。	—	—	—	40	区内大学
	⑤日本と外国の子育て・教育について語る	留学生が、母国と日本の子育て・教育の違いなどについてプレゼンテーションし、グループに分かれた参加者が、それぞれの考えを話し合ってもらう機会を提供する。	—	—	—	40	区内大学
	外国人と関わる団体のオープン情報交換会	【代替事業】 地域で活動している団体が、これまでに取り組んできた活動内容や、新型コロナウイルスにより受けた影響、今後取り組んでいきたいことなどを発表しあい、情報交換及び交流を行った。	10月3日	無料	35	40	区内大学

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
国際交流・異文化理解の推進	外国人のためのまち歩きツアー	【東京2020大会の延期と新型コロナウイルスの影響により①～④中止】 世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見し、交流することで地域で活動するきっかけをつくる。					
	①オリンピック関連イベントや施設を巡る	コミュニティライブサイトなどのオリンピック関連イベントや、オリンピック関連施設等、日本語が不得意な外国人でも楽しく参加できるツアーを実施する。	—	—	—	20	
	②パラリンピック関連イベントや施設を巡る	パラリンピック関連イベントや、オリンピック・パラリンピック関連施設等、日本語が不得意な外国人でも楽しく参加できるツアーを実施する。	—	—	—	20	
	③歴史を学ぶツアー	世田谷にある神社仏閣や区内の歴史文化遺産などを巡ることで、世田谷の歴史や地域を学ぶことができるツアーを実施する。	—	—	—	20	
	④日本の文化に触れるツアー	区内で、お茶席や俳句体験または、箏曲、太鼓を鑑賞することで、日本文化に触れることができる体験ツアーを実施する。	—	—	—	20	羽根木公園梅まつり
ワークショップ・講座	多文化ボランティア講座	外国人との交流を希望する在住外国人を含む区民を対象に、様々な国の文化などを学ぶことができる講座を実施する。					
	①「多文化共生を学ぶ～東京2020大会を迎えるにあたって～」(前期)	【東京2020大会の延期に伴い中止】 多文化共生の基礎知識や、世田谷区で実施してきた交流事業やボランティア活動などを学ぶことで、東京2020大会でのおもてなしにも役立つ多文化理解につながる講座を実施する。(4回)	—	—	—	各40	セミナールーム、ワークショップルーム
	②「多文化共生を学ぶ～世田谷で暮らす外国人の生活から考える～」(後期)	多文化共生の基礎知識や、外国と日本の衣食住などの生活の違いや地域コミュニティの違いなどを学ぶことで、多文化理解につながる講座を「多文化理解講座」として実施した。(4回)	—	—	—	各40	セミナールーム、ワークショップルーム、区内大学
	【代替事業】 多文化理解講座	①多文化共生の第一歩 ②外国にルーツを持つ子どもの言語教育を考える ③JICAが行う国際協力、海外支援活動について ④地震や大雨、日本の災害対策や避難所のルールを外国人に伝えるには	①10月10日 ②10月31日 ③11月7日 ④11月14日	①500 ②500 ③500 ④500	①20 ②28 ③23 ④17		
	日本語コミュニケーション講座 (水曜コース/土曜コース)	一定以上の日本語能力がある外国人(区実施の日本語教室修了生等)を対象に、中級～上級の日本語のコミュニケーションを学ぶ講座を開催し、主体的に地域コミュニティに参加するきっかけづくりを行った。(各5回)	水曜コース 1月27日～3月10日 土曜コース 1月30日～3月13日	水曜コース 1,500 土曜コース 2,000	水曜コース 7 土曜コース 16	各25	オンライン セミナールーム
国際事業部広報	国際事業部広報	ホームページや印刷物に、せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業予定などを掲載するとともに、国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報も併せて発信した。	通年	—	—	—	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
企画展事業	村井正誠 あそびのアトリエ	【臨時休館(3/31～5/31)のため会期中に閉会】(計画会期 ～4/5) 世田谷ゆかりの洋画家・村井正誠(1905-1999)の回顧展。村井は、戦前は自由美術家協会、戦後にはモダンアート協会にて活動、画壇を常にリードしてきた日本を代表する抽象画家である。2005年、等々力の自宅アトリエの跡地に村井正誠記念美術館が開館。本展では、当館収蔵品を中心に「マルチアーティスト」や「教育者」としての顔など、これまであまり知られてこなかった側面にも焦点を当てた。単館開催。	(2月8日～3月29日)	—	—	1,500 (総計15,000)	世田谷美術館
	驚異の三人！！高松次郎・若林奮・李禹煥——版という場所で	【臨時休館(3/31～5/31)のため中止。規模を縮小し、ミュージアムコレクション展として3年度に実施】(計画会期 4/18～6/7) 高松次郎(1936-1998)、若林奮(1936-2003)、李禹煥(1936-)は、日本の戦後美術において重要な位置を占める作家である。本展では、これまで同時に展覧会に参加することがほぼなかった3人の版画作品を一堂に紹介する計画だった。	—	—	—	15,000	世田谷美術館
	没後20年 麻生三郎展 三軒茶屋の頃 1948-1972	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期 8/29～10/18) 戦後の日本美術の重要作家・麻生三郎(1913-2000)の回顧展。本展では麻生が画家として最も充実した制作時期にあたる世田谷時代にスポットを当て、本人がコレクションしていたベン・シャーン作品も紹介する計画だった。	—	—	—	15,000	世田谷美術館
	【米国ホストタウン関連事業】 生誕160年記念グランマ・モーゼス展 ——素敵な100年人生	【新型コロナウイルスの影響により3年度に延期】(計画会期10/31～3年1/24) アメリカの素朴画家グランマ・モーゼスは、70代にして絵筆をとり、自分の住む村を取り囲む自然や農村に生きる人々の生活を描いた。2020年に生誕160年を迎えるにあたり、約100点の油彩に様々な資料を加え、101歳の長寿を生きたその人生を紹介する。全国4会場を巡回予定。東映株式会社、朝日新聞、BS-TBSと共催。	—	—	—	63,000	世田谷美術館
	器と絵筆——魯山人、ルソー、ポーシャンほか	【代替事業】 当館の目玉コレクションとして知られる北大路魯山人と素朴派の画家たちの作品を一堂に展覧する。多くの人々に館の魅力と存在意義を、所蔵品を通じて改めて伝える展覧会とした。(48日間)	3年1月5日～ 2月28日	一般500他	11,743	4,800	世田谷美術館
	アイノとアルヴァ 二人のアアルト フィンランド——建築・デザインの神話	【新型コロナウイルスの影響により会期変更】(計画会期 3年2/6～4/11) モダニズム建築の国際的な巨匠のひとりと考えられる建築家、アルヴァ・アアルト(1898-1976)。アアルト建築のエッセンスの確立には、最初の妻であるアイノ・アアルト(1894-1949)の存在と影響が大きく寄与していた。アイノの仕事と、互いの才能を認め合い補完しあったアルヴァとの関係性を、アルヴァ・アアルト財団およびアアルト・ファミリーコレクションの作品資料により展覧した。なお本展は、公益財団法人ギャラリーエークウッドとの共催で兵庫県立美術館へ巡回する。(10日間)	3年3月20日～ (6月20日)	一般1,200他	5,006	3,750	世田谷美術館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
調査・研究	調査・研究 ①企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行った。	通年	—	—	—	世田谷美術館及び分館
	②収蔵品等 [指定管理]	収蔵品に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を美術研究に資するため『紀要』として編集発行。	通年	—	350部	350部	世田谷美術館
	アーカイブ [指定管理]	令和2年度の事業のまとめとして、美術館活動を総括し、記録する『年報』を編集発行した。	通年	—	300部	300部	
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開した。 【臨時休館(3/31～5/31)のため会期中に閉会】(計画会期 ～4/12) 第Ⅲ期 受け継がれる工芸の技と心——そして現代へ 小コーナー 能面師 入江美法の世界	(1年12月7日～ 3月29日)	—	—	30,000 ↓	世田谷美術館
		【新型コロナウイルスの影響により会期変更】(計画会期 4/25～6/14) 第Ⅰ期 気になる、こんどの収蔵品——作品がつれてきた物語 (66日間)	6月2日～8月16日	一般200他	5,552		
		【東京2020大会の延期に伴い3年度に延期】(計画会期 7/4～8/16) 【オリンピック・パラリンピック関連事業】 ミュージアムコレクション特別篇 グローバル化時代の現代美術 ——“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行	—	—	—		
		【代替事業】 作品のない展示室 (47日間) 建築家・内井昭蔵は世田谷美術館を、「生活空間としての美術館」、「オープンシステムとしての美術館」、「公園美術館としての美術館」をコンセプトとして設計した。1階展示室には、多くの窓があり、周囲の環境と一体化しようとする開放的な建物を、砧公園の緑を眺めながら楽しんでいただいた。	7月4日～8月27日	無料	16,625	設定なし	
		音楽イベント「展示室の音色」 展示室内等で音楽家による演奏を実施	7月26日(5回) 8月9日(2回) 8月23日(4回)	無料	440	各回40	
	【新型コロナウイルスの影響により会期変更】(計画会期 8/28～12/6) 第Ⅱ期 ①吹田文明と版画集『東京百景』(86日間) 小コーナー 版画集『東京回顧圖會』	8月29日～12月6日	一般200他	8,070	↑ 30,000 ↓		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所	
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	【代替事業】 ②再読!! 5つの物語——美術が語る夢と現実 (80日間)	9月5日～12月6日	一般200他	7,929	↑ 30,000	世田谷美術館	
		【新型コロナウイルスの影響により会期変更】(計画会期 12/19～3年4/25) 第Ⅲ期 美術家たちの沿線物語——田園都市線・世田谷線篇 (80日間)	12月19日～ 3年3月28日		13,068			
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	【新型コロナウイルスの影響により、ギャラリートークは中止】 向井潤吉作品に係る作品展を年2回実施した。 第Ⅰ期 向井潤吉 民家への旅路(計画会期 4/1～10/4) (108日間)	6月2日～ 10月4日	一般200他	1,447	8,100	向井潤吉アトリエ館	
		第Ⅱ期 向井潤吉の現場とアトリエ (117日間)	10月24日～ 3年3月14日		1,647			
	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	【新型コロナウイルスの影響により、ギャラリートークは中止】 清川泰次作品に係る作品展を年2回実施した。 第Ⅰ期 清川泰次 絵と言葉(計画会期 4/1～10/4) (108日間)	6月2日～ 10月4日	一般200他	517	2,620	清川泰次記念 ギャラリー	
		第Ⅱ期 清川泰次とアメリカ (61日間)	1月5日～ 3年3月14日		448			
	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	【新型コロナウイルスの影響により、ギャラリートークは中止】 宮本三郎作品に係る作品展を年2回実施した。 第Ⅰ期 宮本三郎 絵画、その制作とプロセス(計画会期 4/1～10/4) (108日間)	6月2日～ 10月4日	一般200他	783	3,600	宮本三郎記念美 術館	
		第Ⅱ期 宮本三郎 描かれた女性たち——そのひと、そのしごと (117日間)	10月24日～ 3年3月14日		1,080			
	資料収集・ 管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けた。新規委託物品803点(取得額451,794,960円)。	通年	—	—	—	世田谷美術館及 び分館
		作品保管整理 [指定管理]	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保った。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施した。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理した。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき、作品の貸出を行った。修復、額装など334点。貸出については、貸出14件206点(内資料28点)、返却15件219点(内資料27点)、寄託0件0点。	通年	—	—	—	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金(円)	実績人数(人)	当初計画数(人)	実施(計画)場所
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオ視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行った。	6月～3年3月	—	3,973	12,000	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	美術の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催した。100円ワークショップなど、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催した。	9月～3年3月	—	動画視聴数 2,442	3,835	世田谷美術館 創作室 オンライン
		【各種講座】 ホームページによる動画配信「セタビチャンネルJr.」等に変更し実施。					
		【100円ワークショップ】 「おうちで100円ワークショップ」として、過去の人気ワークショップの材料をキットにして販売。	8月～12月	100	1,602		
	【ナイトツアー】 参加者は募らず、実際にツアーを体験しているような動画を生配信した。	7月8日 8月1日、15日	—	動画視聴数 1,548			
ワークショップ・講座	美術大学	【新型コロナウイルスの影響により本科は中止】 5月から12月まで約半年間、講義、実技、鑑賞を組み合わせる総合的に美術を学ぶ区民のための講座(45日間)。 ・ホームページで美術大学通信講座の配信を行った。 ・オンラインによる卒業生対象のステップアップ講座、延期とした令和元年度分の講座を行った。	7月～3年3月	ステップアップ 講座1,000 他	HP通信講座 動画視聴数 5,797 オンライン ステップアップ 講座動画 視聴数 527 元年度分 ステップアップ 講座 157	210	世田谷美術館 オンライン
プロムナード・コンサート	プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするともに、若手を中心とする優秀な音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手音楽家によるリサイタル形式のコンサートを回数及び観客数を制限して実施した。また、ポッドキャストで演奏の一部と演奏者のインタビューを公開した。					
		金子淳 ピアノ・リサイタル ショパン、スクリャービン、ラフマニノフーロマンティシズムの変遷	10月17日	無料	47	40	世田谷美術館
		星 美南子・添田哲平 ピアノ・デュオ・コンサート	3年3月13日	無料	46	40	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
ワーク ショップ・ 講座	パフォーマンス等イベント	「作品のない展示室」クロージングイベントとして、無観客でパフォーマンス「明日の美術をひらくために」を開催。オンライン配信を実施し、記録集を作成した。記録集はミュージアムショップで販売を試みた。	10月17日	—	動画視聴数 1,650	—	世田谷美術館 YouTube動画配信
	分館講座室活動	【新型コロナウイルスの影響により分館を使用した講座は中止】 4種類のワークシートを作成し、館内配布またはウェブサイトでの配信を行い、8月1日から10月4日まで「なりきりミュージアム！」などの展示室や自宅で体験できるコンテンツを発信した。その後ホームページ上に、ワークシートに解説などを加えた小中学生向けの「ジュニアガイド」を作成し公開している。	— 8月～3年3月	— 無料	— —	— 設定せず	— 宮本三郎記念美術館
子どもと学 校プログラム	美術鑑賞教室	【教育委員会の中止決定により施設見学は全面休止】 世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校1年生の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。美術鑑賞教室は小学校全61校で実施。中学校29校は個人鑑賞での来館。また特別プログラムでは、当館職員による区立小学校への出張授業を対面とオンラインで行った(小学校24校、中学校3校で実施)。また、小学校に提供する教材にもなる、子ども向け動画を作成。	9月～3年3月	—	2,448	17,415	区内小・中学校 世田谷美術館 オンライン
		【小学生】 【中学校】		—	789		
人材育成 プログラム	学校との連携	【新型コロナウイルスの影響により中止】 ①博物館実習 学芸員後継者育成と美術館の普及のために、博物館学実習の講義、実習を行う。(12日間)	—	—	—	20	世田谷美術館
		②インターンシップ 長年の実績がある東京学芸大学インターン生を指導し、オンラインでの実習による授業向け鑑賞シートを作成。当初の予定である、区内小学校4年生を対象に出張授業を行う美術鑑賞教室特別プログラムは中止したが、学芸員が中学校訪問を含めて代行で授業を実施した。新たに作成した美術館作品マップも4年生全児童に配布した。	7月～3年3月	無料	教材利用児 童数 5,900	教材利用児 童数 5,900	世田谷美術館他
		③区内大学との連携 地域の大学との連携事業については当該大学が大学祭の実施方法を変更し、オンラインにより開催された。当館は来館した学生へのレクチャーと学生主体のプロジェクト及び広報物の作成に協力した。「用賀サマーフェスティバル」は中止。	6月～3年3月	無料	33	1,000	世田谷美術館 区内大学オンライ ン

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	【新型コロナウイルスの影響により中止】 展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	—	—	—	18	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	【新型コロナウイルスの影響により中止】 美術と教育に関心のある方を対象に、美術を鑑賞する方法を幅広い視点からとらえ直すことを目的に、視覚障害者の美術鑑賞に関して先進的な活動を行っている国内外の団体の事例を紹介する。	—	—	—	100	世田谷美術館
区民の表現の場の提供	区民絵画・写真展 (交互・隔年開催)	【新型コロナウイルスの影響により中止】 世田谷区もしくは川場村在住・在勤・在学者を対象に作品の募集を行い、審査の上、区民ギャラリーにて展示する。	—	—	—	250	世田谷美術館
	区民ギャラリー等の貸出 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリーの貸出を行った。					
	①美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行った。 (利用団体数114)	6月～3年3月	1日あたり1室 13,820 他 (利用は6日単位)	23,623	79,000	世田谷美術館
	②美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行った。(利用団体数23)	6月～3年3月	1日10,800 他	730	1,600	
	③清川泰次記念ギャラリー 区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行った。(利用団体数9)	6月～3年3月	1日あたり 2,880 他 (利用は6日単位)	938	4,000	清川泰次記念 ギャラリー
	第6回世田谷区芸術アワード “飛翔”受賞記念発表展示 [区受託]	若手アーティストの創作活動を奨励・支援することを目的として実施する世田谷区芸術アワード“飛翔”「美術」部門の受賞記念発表展を実施した。 第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表 久保ガエタン展	3年3月16日～28日	無料	611	1,000	世田谷美術館
	第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表 堀江栞展	3年3月16日～28日	無料	655	1,000		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
地域活性 のための 文化芸術 事業	ボランティア活動	【新型コロナウイルスの影響により一部中止】 世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行った。勉強会のみ人数を制限し実施。また、100円ワークショップキット販売は人数を調整して実施。	6月～3年3月	無料	246	455	世田谷美術館他
	さくら祭	【新型コロナウイルスの影響により中止】 エントランス広場等での美術館PRのためのイベントを開催。	—	—	—	5,000	世田谷美術館
	交流都市連携事業 [区受託]	【新型コロナウイルスの影響により中止】 世田谷区の依頼による地域への教育普及活動。例えば群馬県川場村の川場小学校へのお出張授業などを行う。	—	—	—	60	川場村
	【米国ホストタウン関連事業】 日米芸術家交換プログラム コラボレーション2020	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期7/28～8/9) 世田谷区がアメリカのホストタウンであることから、世田谷区、日米友好基金、全米芸術基金との共催事業として、アメリカのアーティストを招聘。区民ギャラリーで、アーティストと区民が交流できる展覧会を開催する。	—	—	—	1,500	世田谷美術館
	【オリンピック・パラリンピック 関連事業】 馬のことは馬にきこう！！ 馬と馬術のお話	【新型コロナウイルスの影響により中止】(計画会期7/28～8/9) 神奈川県にある馬の博物館の協力を得て、区民ギャラリーにおいて、ファミリーで楽しめる馬に関する資料を展示。加えて各種資料で馬術競技の魅力を紹介する、世田谷区との共催事業。	—	—	—	1,500	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	ホームページや印刷物の他、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信した。 新型コロナウイルス対策で大幅にホームページの機能改善を行った。動画配信「世田美チャンネル」など動画コンテンツを配信する等、新たなかたちでの情報発信を開始した。ホームページでデジタルコンテンツとしてブログ74本、動画コンテンツ49本、ポッドキャスト4本を公開。	通年	—	—	—	—
	美術館だより・年報の発行	①美術館だより(年3回)の発行 ②年間予定表の発行 新型コロナウイルスの影響により変更となった2020年度の年間予定表を新たに発行した。また、2021年度の年間予定表を3月に発行。	①6月、10月、2月 ②7月、3年3月	—	①6月、10月 各500部 2月1,500部 ②30,000部 ／50,000部	①各1,500部 計4,500部 ②50,000部	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
企画展事業	六世 中村歌右衛門展	<p>【臨時休館(3/31～5/31)のため会期中に閉会】(計画会期4/5まで)</p> <p>世田谷・岡本の地を終の棲家とした人間国宝、六世・中村歌右衛門(1917～2001)。五世の次男として生まれ、女方ひと筋に歩んだ。戦後、苦境に陥った歌舞伎を建て直し、海外公演や新たな演目にも挑戦し、その艶麗で品格ある芸風は日本のみならず世界も魅了した。昭和から平成にかけて歌舞伎界を名実共に牽引し、現在の隆盛へと導いた一人でもある。</p> <p>本展では「京鹿子娘道成寺」「隅田川」「伽羅先代萩」「助六由縁江戸桜」など、当たり役と言われた名作とともにその役作りを紹介、日本のみならず世界も魅了した不世出の女方の人と芸に迫る。世田谷美術館所蔵の衣裳や美術品など関連資料も多数出品し、構成した。</p>	(1月18日～3月29日)	800～300	0 (総計3,028)	1,000 (総計11,970)	世田谷文学館
	【東京2020大会関連事業】 安野モヨコ展 ANNORMAL	<p>【臨時休館(3/31～5/31)のため会期を変更】(計画会期4/25～6/28)</p> <p>『ハッピー・マニア』『さくらん』『シュガシュガルー』『働きマン』などの作品で強く生きる女性・少女を描いて人気を博す一方、日本の四季と失われゆく風景を版画の優しいタッチで描いた『オチビサン』や、『美人画報』『くいじ』などのエッセイで、漫画家の枠を超えて幅広く活躍する安野モヨコ(1971～)。</p> <p>時代が求める切り口を見つけ、圧倒的な想像力で物語を紡ぎだすストーリーテラー。版画や墨絵など表現方法にもこだわる絵師。その両面を併せ持つ漫画家・安野モヨコのデビュー30周年を記念して、初期から最近作までの原画を中心に紹介した。</p> <p>なお、本展は東京新聞と共同企画し、当館開催後、全国の美術館・文学館等で巡回中。</p>	7月1日～9月22日	800～300	10,003	15,000	世田谷文学館
	【東京2020大会関連事業】 あしたのために あしたのジョー！展 情熱的にあすを生き抜くために	<p>【東京2020大会が延期となったため会期を変更】計画会期(7/11～9/22)</p> <p>本展は、東京2020大会関連事業として「文学とスポーツ」をテーマに、当財団が文化事業を通じて社会貢献を果たすために企画した。今大会において本区は、アメリカ選手団受け入れを担うが、オリンピック競技種目の中でボクシングは米国と関わりが深く、初の米国大会(1904年セントルイス)以降、ほぼすべての夏季大会で競技として認定されてきた歴史を持つ。「あしたのジョー」は、東京五輪(1964年)を前後する時期が時代背景として設定されている。貧困から少年院送りとなった主人公が、スポーツを通して更生し、自らの命を燃え尽くす程の情熱をボクシングに見出だしていく姿が描かれている。</p> <p>「リング上のチェス」とも言われる頭脳的なスポーツであり、また精神と肉体を酷使するボクシング。本展では、スポーツ漫画(文学)を通じ、情熱的にあすを生き抜くための術を紹介した。</p>	3年1月16日～ 3月31日	800～600	7,987	14,000	世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
企画展事業	没後10年 井上ひさし展 —希望へ橋渡しする人	2020年没後10年となる作家・井上ひさし(1934-2010)。小説や劇作のなかで井上が残した言葉の数々はユーモアにあふれ、読むものに日本語の持つ豊かさを教えてくれる。本展ではその膨大かつ緻密な創作資料と井上ひさし作品にみられる「希望の言葉」に一人一人が向き合う「私だけの劇場」を演出した。 また、本展では2019年から2020年にかけて全国各地で開催された井上ひさし展の主催館(5館)とも連携・協力を行った。	10月10日～12月6日	800～300	4,496	10,000	世田谷文学館
	第39回 世田谷の書展	現代書壇を代表する区内在住書家約30名による、所属会派を超えた新作展を開催。「世田谷ゆかりの作家たち」をテーマにした作品により、文学と書道が織りなす豊かな芸術世界を展観した。	3年1月5日～11日	無料	456	560	世田谷文学館
	イラストレーター 安西水丸 展	【新型コロナウイルスの影響により3年度に延期】(計画会期3年1/16～4/11) イラストレーターとして出版や広告など多方面で活躍する一方、旅・映画・食にまつわるエッセイや、創作小説、絵本、漫画など、幅広い分野で才能を発揮した安西水丸(1942～2014)。 本展では各分野における仕事を展示紹介し、幼少期から晩年に至るまでの足跡をたどるとともに、親しく交流し、共著・共作も多い、嵐山光三郎、村上春樹、和田誠との創作活動を大きく取り上げ、その全貌に迫る。	—	—	—	14,500	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行った。成果は、今年度本格稼働となった収蔵品公開システムで公表した。	通年	—	—	—	世田谷文学館
収蔵品展	コレクション展 —綴じられた時間の物語— ムットーニのからくり文学館 [指定管理]	【2年度コレクション展は、「ムットーニのからくり文学館」のみに変更(計画会期4/25～9/22)、石川淳コレクション紹介(計画会期10/10～3年3/31)は3年度に延期】 文学館コレクション展示室で、ムットーニ作品の全収蔵作を上演する「ムットーニのからくり書物」拡大版を開催し、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料と、ゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く文学に親しむ機会を提案した。	7月7日～ 3年3月31日	200～100	2,471	22,000	世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金(円)	実績人数(人)	当初計画数(人)	実施(計画)場所
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。今年度は蔵書点検のための「文学資料等定期点検要領」を策定。 保管環境の維持・向上のための収蔵庫内燻蒸の実施年度にあたるため実施するとともに、展示室・収蔵庫および周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施。感染症対策のため換気場所を増やしたことにより、ポイントを見直しや追加を行うなど、展示室・収蔵庫の環境調査・確認を例年より強化した。また、収蔵庫・展示室の災害時用マニュアルを検討し、防災用品を備えた。 貸付要領に基づき、収蔵資料の貸付を行った(4件、39点)。また、逼迫した課題である収蔵庫狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階の両収蔵庫の整理作業を行った。 収蔵資料の画像貸出(特別観覧)を行った(8件、34点)。	通年	—	—	—	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行う。またホームページ上での、主要収蔵資料の検索サービスを開始した(8月:森鷗外家族資料公開、3月:植草甚一関連資料公開データ整備完了)。今後、順次コレクションごとに公開していく。	通年	—	—	—	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内では、子ども向けワークショップやワークシート制作などのプログラムを開発、実施する。館外では、学校や地域と連携しながら写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップを実施。新規出張展示キット「井上ひさし ふかいことをゆかいに」「水丸さんのがたんごん」を制作した。 新型コロナウイルスの影響により、ワークショップはオンラインも活用し実施した。のべ13回のワークショップを実施、のべ42箇所出張展示を開催した。	通年			50,000 ↓	
		<ほんとう> オンライン哲学カフェ① 宮沢賢治「雨ニモマケズ」 講師:幡野雄一(NPO法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ)	7月26日	無料	12		オンライン
		オンライン講演会「お家から行く世界探検！」 講師:高橋大輔(探検家)	8月10日	無料	63		オンライン
		オンラインワークショップ「pipioといっしょに 森の動物リースづくり」 講師:pipio	8月23日	無料	38		オンライン
		<ほんとう> オンライン哲学カフェ② 新美南吉「デンデンムシノカナシミ」 講師:幡野雄一(NPO法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ)	9月26日	無料	7		オンライン
		だれでも小説家(全3回) 講師:荒居蘭(小説家)	10月17・18・24日	無料	延べ38 (14, 15, 9)		世田谷文学館
		大竹英洋講演会「ノースウッズ 生命を与える大地」 講師:大竹英洋(写真家)	11月16日	無料	181		芦花小学校
		<ほんとう> 哲学カフェ③ 井上ひさし「握手」 講師:幡野雄一(NPO法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ)	11月29日	無料	12		世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
地域連携 事業	どこでも文学館	「ことばとからだ」オンラインワークショップ～ダンスでつながろう～ 講師: 日本女子体育大学ダンス・プロデュース研究部	12月13日	無料	13	↑ 50,000 ↓	オンライン
		【リアルイベントの代替事業として実施】(計画会期1/31、2/7) ワン・ミニット・ムービー おうちでつくってみよう(動画制作と配信) 動画制作: 本田友美(教育と探求社)	3年2月上旬～	無料	—		youtube動画配信
		オンラインワークショップ「pipioといっしょに 雪の結晶コマづくり」 講師: pipio	3年2月28日	無料	36		オンライン
		【「あしたのために!展 関連「哲学カフェ」の代替事業として実施】(計画会期 1/24) 〈ほんとう)オンライン哲学カフェ④ グリム兄弟「星の銀貨」 講師: 幡野雄一(NPO法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ)	3年3月6日	無料	10		オンライン
		出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	4月1日～6月23日	無料	202		川場村 ふじやま ビレジ食堂前
		出張展示「セタブン人生相談—あなたのための人生処方箋」	4月1日～6月23日	無料	377		川場村 ふじやま ビレジせせらぎの 湯
		出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	4月1日～6月23日	無料	77		川場村 なかのビ レジ B棟
		出張展示「大竹英洋 生命を与える大地」	6月2日～9月22日	無料	4,405		世田谷文学館
		出張展示「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」	6月12日～8月3日	無料	2,345		奥沢区民セン ター
		出張展示「SF入門 Vol.2 星新一」	6月25日～11月26日	無料	3,940		川場村 ふじやま ビレジ食堂前
		出張展示「セタブン人生相談 —あなたのための人生処方箋」	6月25日～11月26日	無料	4,565		川場村 ふじやま ビレジせせらぎの 湯
		出張展示「北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展」	6月25日～11月26日	無料	1,992		川場村 なかのビ レジ B棟
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	7月25日～9月2日	無料	980		コミュニティカフェ ななつのこ
		出張展示「セタブン人生相談 —あなたのための人生処方箋」	7月31日～10月14日	無料	20,000		梅丘図書館
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	8月4日～9月3日	無料	1,791		奥沢区民セン ター
出張展示「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」	9月1日～9月29日	無料	326	八幡小学校			

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	9月4日～10月7日	無料	2,428	↑ 50,000 ↓	奥沢区民センター
		出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	9月4日～10月2日	無料	404		太子堂小学校
		出張展示「SF入門 Vol.1 星新一」	9月7日～10月1日	無料	695		千歳中学校
		出張展示「赤毛のアン ―プリンス・エドワード島への旅―」	9月14日～10月22日	無料	326		玉川中学校
		出張展示「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」	10月2日～11月6日	無料	695		千歳中学校
		出張展示「SF入門 Vol.1 星新一」	10月2日～11月6日	無料	752		京西小学校
		出張展示「アルプスの少女ハイジ」	10月9日～10月23日	無料	691		祖師谷小学校
		出張展示「井上ひさし ふかいことをゆかいに」	10月10日～12月6日	無料	827		世田谷文学館
		出張展示「大竹英洋 生命を与える大地」	10月12日～11月10日	無料	314		池之上小学校
		出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	10月15日～11月4日	無料	477		八幡山小学校
		出張展示「水上勉のハローワーク」	10月16日～12月16日	無料	15,000		梅丘図書館
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	11月5日～12月17日	無料	477		八幡山小学校
		出張展示「赤毛のアン ―プリンス・エドワード島への旅―」	11月6日～12月1日	無料	404		太子堂小学校
		出張展示「SF入門 Vol.1 星新一」	11月11日～12月18日	無料	314		池之上小学校
		出張展示「大竹英洋 生命を与える大地」	11月12日～12月15日	無料	1,027		芦花小学校
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	11月13日～11月26日	無料	60		西栗倉中学校
出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	11月13日～12月2日	無料	1,179	山野小学校			
出張展示「中高生のための寺山修司のススメ」	11月18日～12月9日	無料	339	松沢中学校			

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	11月21日～12月13日	無料	354	↑ 50,000	あわくら図書館
		出張展示「セタブン人生相談 —あなたのための人生処方箋」	11月28日～ 3年3月31日	無料	2,782		川場村 ふじやま ビレッジ食堂前
		出張展示「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」	11月28日～ 3年3月31日	無料	3,596		川場村 ふじやま ビレッジせせらぎの 湯
		出張展示「山へ！ to the mountains」	11月28日～ 3年3月31日	無料	1,087		川場村 なかのビ レッジ B棟
		出張展示「SF入門 Vol.2 星新一」	12月10日～ 3年3月31日	無料	26,000		梅丘図書館
		出張展示「新 宮沢賢治幻想紀行」	12月17日～ 3年2月18日	無料	13,000		梅丘図書館
		出張展示「大竹英洋 生命を与える大地」	3年1月8日～ 2月28日	無料	2,170		教文堂ナルニア 国(銀座)
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	3年1月9日～ 2月28日	無料	350		ギャラリーTen- Sen(松戸市)
		出張展示「中高生のための寺山修司のススメ」	3年1月16日～ 3月31日	無料	831		世田谷文学館
		出張展示「井上ひさし ふかいことをゆかいに」	3年1月19日～ 3月1日	無料	2,252		奥沢区民セン ター
		出張展示「SF入門 Vol.1 星新一」	3年1月26日～ 2月26日	無料	1,881		粕谷区民セン ター
	出張展示「中高生のための寺山修司のススメ」	3年2月19日～ 3月31日	無料	10,000	梅丘図書館		
	幼保連携 [区受託]	【教育委員会からの依頼で1・2月に実施】 世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針 の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一 環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するた め、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーの展示を、教育委員会から委 託を受け実施する。					1,000
出張展示「宮西達也と子どもたち」		3年1月6日～ 1月28日	無料	113	芦花保育園		
出張展示「宮西達也と子どもたち」		3年2月2日～ 2月24日	無料	81	八幡山幼稚園		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
講演会等 事業	企画展・コレクション展・ライブラリー関連公演会、上映会、コンサート等事業	安野モヨコ展トークイベント(5/2、6/6)中止のほか、企画展関連イベントについては新型コロナウイルスの影響により中止。 リアルイベントが実施できなくなった代わりに、ホームページで作家、アーティストによる選書企画「本と輪 この3冊」(角田光代、荒井良二、大橋歩ほか)の配信を開始した。	通年	—	—	2,000	ホームページ
	セタブンマーケット 2020	【新型コロナウイルスの影響により中止】 書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を発信する、本と雑貨の蚤の市。作家・デザイナー・編集者からの特別出品や、子どもも楽しめるミニワークショップなど、世田谷文学館独自の内容で開催。2年度は2回開催。6月には「安野モヨコ展 ANNORMAL」と連動し、作品世界ともなじみのよい雑貨店やセレクト書店の出店やイベントを実施。10月には台湾交流事業を記念して、「台湾」のカルチャーや特産品を紹介するマーケットを開催する。	—	—	—	2,000	世田谷文学館
	【東京2020大会関連事業】 開館25周年記念イベント、記念誌の刊行	【新型コロナウイルスの影響により内容を変えて3年度に実施予定】 世田谷文学館開館25周年を記念し、今までの活動の成果をあらわすイベントや、今後の活動の布石となる催しを行う。東京2020大会に合わせ、日本と台湾のスポーツ交流について紹介する台湾交流事業とも連動させながら実施する。25周年を記念し、「ライブラリー ほんとう」の活動を総括し、報告書を作成する。	—	—	—	2,000	世田谷文学館
活動支援・ 共催事業	市民活動・友の会の支援など	友の会をはじめ、文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、市民の生涯学習の要望に応える。 友の会との共催事業は2年度内は中止となったが、引き続き活動支援を行った。	通年	—	—	1,000	世田谷文学館他
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、実習生を定員の半分に減らし、博物館学実習の講義・実習を行った。(6日間)	9月	無料	3	6	世田谷文学館
	職場体験などの受入	【教育委員会からの依頼がなかったため実施せず。学校からの要望により「職場見学」として対応】 参加者は博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムで、近隣の中学校などから職場体験を受け入れる。また高校生・大学生の奉仕活動の希望の受入にも柔軟に対応する。	11・12月	無料	22	30	世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
ライブラリーの運営	【東京2020大会関連事業】 ライブラリー「ほんとう」の運営 [指定管理]	【新型コロナウイルスの影響により、3/31～10/5を休室とした】 授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営した。また、東京2020大会にあわせ、馬や馬術競技への関心を高める「馬とスポーツのライブラリー」を区立図書館の協力を得て実施した。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行った。	10月6日～ 3年3月31日	—	5,302	24,000	世田谷文学館
区民の表現の場の提供	第6回世田谷区芸術アワード “飛翔”受賞記念発表 [区受託]	若手アーティストの発掘・支援とあわせて、創作に対する発表・奨励を目的として実施する世田谷区芸術アワード“飛翔”発表の年にあたり、「文学」部門受賞者と作品の周知広報を行った。	通年	—	—	—	—
文学館広報	文学館広報	ホームページや印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。 ホームページの改修に着手したほか、臨時休館やスケジュール変更などの緊急対応、来場に関する諸注意などの情報発信、WEBによる事業の配信、SNSの活用など、より積極的に広報活動を行った。	通年	—	—	—	—
	文学館ニュースの発行	文学館の事業活動を広く周知するため、文学館ニュースを年3回発行する。 前年度(2年3月)に作成した74号は、新型コロナウイルスの影響により、企画展等のスケジュールが全面的に変更になり発行を見合わせた。75号に館長対談を再掲し拡大版で発行した。 館長対談：亀山郁夫(75号)、俵万智(76号・リモート対談にて実施)、島田雅彦(77号)	3回	—	各 10,000部	各 10,000部	—
国際交流・異文化理解の促進	【東京2020大会関連事業】 台湾交流事業	【新型コロナウイルスの影響によりイベントは中止】 国外からの講師招聘によるレクチャー、上映&トークなどの国際交流イベントについては、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、国立台湾文学館の協力のもと、区民が台湾の文化・芸術に親しむための移動展示用パネルセットを作成した。	—	—	—	5,000	世田谷文学館

(7)財団共通

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
来館者サ ポート	来館者サポート	様々な状況にある区民等の参加機会を増やすため、公演等において来館者サポートを行った。					
		【生活工房】 臨時休館中(3/31～6/15)は休止					
		①車椅子の貸出	6月～3年3月	—	—	—	ワークショップ ルーム等
		②授乳スペースの提供	6月～3年3月	—	—	—	授乳室等
		【世田谷パブリックシアター】 臨時休館中(3/31～6/15)は休止					
		①託児サービス 託児付き公演(26公演)	7月～3年3月	2,200	55	—	パブリックシア ター/シアタートラ ム
		②車椅子スペースの利用	7月～3年3月	定価の10%引 付添1名無料	55 (うち付添21)	—	
		③車椅子の貸出	7月～3年3月	—	—	—	
		④客席内エレベーターの利用	7月～3年3月	—	—	—	シアタートラム
		⑤視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置	7月～3年3月	—	—	—	パブリックシア ター
		⑥視覚障害者のための舞台説明会 (対象:主催公演) 0公演 【新型コロナウイルスの影響により中止】	7月～3年3月	—	—	—	パブリックシア ター/シアタートラ ム
		⑦盲導犬を伴っての観劇 (対象:主催公演) 0公演 【新型コロナウイルスの影響により中止】	7月～3年3月	—	—	—	
		⑧視覚障害者向けの解説付き音声ガイド (対象:主催公演) 0公演 【新型コロナウイルスの影響により中止】	7月～3年3月	—	—	—	
⑨聞こえにくい方向けの音声サポート (対象:主催公演) 1公演	7月～3年3月	—	3	—			
⑩聴覚障害者のための上演台本の貸出 (対象:主催公演、要事前申込)	7月～3年3月	—	—	—			
⑪聴覚障害者のためのオンライン手話サービス (アクセス、チケット購入方法等)	7月～3年3月	—	—	—	劇場ホームペー ジ		
⑫非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布	7月～3年3月	—	—	—	パブリックシア ター/シアタートラ ム		
⑬聴覚障害者のためのコミュニケーションボードの設置	7月～3年3月	—	—	—			

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所	
来館者サ ポート	来館者サポート	【世田谷美術館】 臨時休館中(3/31～5/31)は休止 ①手話通訳付き講演会・講座等	—	—	—	—	世田谷美術館	
		②車椅子、昇降式車椅子等の貸出	6月～3年3月	—	—	—		
		③ベビーカーの貸出	6月～3年3月	—	—	—		
		④授乳スペースの提供	6月～3年3月	—	—	—		
		⑤音声誘導装置の導入	6月～3年3月	—	—	—		
	来館者サ ポート	来館者サポート	【世田谷文学館】 臨時休館中(3/31～5/31)は休止 6/2～9/30の期間は三密を防ぐため1階のくつろぎコーナーを撤去したことにより、ライブラリーを休憩所・授乳室に、講義室を熱中症対応スペースとした。 ①車椅子の貸出	通年	—	—	—	世田谷文学館
			②ベビーカーの貸出など	通年	—	—	—	
			③授乳室の利用	通年	—	—	—	
			④託児サービス	実施せず	—	—	—	
		せたがやアーツカード	世田谷区民を対象とする会員制度。主に財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図った。毎月1日配信の会員向けメールマガジンによる情報提供を行った。アーツカード事務局の臨時休業中(3/31～6/15)は新規入会受付をFAXと郵送の受付のみとし、会員からの問合せもメール対応とした。	通年	無料	会員数 17,200 メルマガ 配信者数 10,216 割引利用者 2,206	18,000	—
財団広報	財団広報	①財団ホームページの運用 財団及び事業内容等を紹介した。また、新型コロナウイルスによる臨時休館や事業の中止や延期、変更等のお知らせをした。	通年	—	—	—	—	
		②ふるさと区民まつりPR活動 【ふるさと区民まつりの中止】	—	—	—	—	世田谷公園	
		③財団広報誌「せたがやアーツプレス」の発行(3回)【休刊】	—	—	—	各15,900部	—	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所	
財団広報	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容等を広く区民等に周知するため、毎月25日にタブロイド版の情報紙を発行した。新聞(主要6紙)折り込み、図書館等の区施設、区内鉄道駅広報スタンド等に配布した。公演、事業の中止や延期による紙面変更は記事の差替えや発行頁数を減らして対応した。(12回)	毎月25日発行	無料	各249,000部	各266,700部	—	
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文化生活情報センター	
		臨時休館中(3/31～6/15)は休止 生活工房セミナールーム、ワークショップルームの貸出を行った。	6月～3年3月	9,790～3,160	11,524	—	世田谷文化生活情報センター	
		世田谷区内の劇団等による演劇・舞踊公演など、様々な催し物を実施した。2団体(公演回数17回)	6月～3年3月	9,000～無料	1,359	—	世田谷文化生活情報センター	
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	臨時休館中(3/31～5/31)は休止 世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行った。	①世田谷美術館区民ギャラリー 114団体	6月～3年3月	1日あたり1室 13,820他 (利用は6日単位)	23,623	—	世田谷美術館
		②清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー 9団体		6月～3年3月	1日あたり2,880他 (利用は6日単位)	938	—	清川泰次記念ギャラリー
		③世田谷美術館講堂 23団体		6月～3年3月	1日10,800他	730	—	世田谷美術館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文学館	
4/1～9/30は区民貸出し中止 講義室の貸出を行った。夏季については講義室を熱中症対応スペースとして使用した。		10月～3年3月	無料	481	—			
物品販売事業	パブリックシアターDVD等の販売	臨時休館中(3/31～6/15)は休止 劇場で上演された公演等を映像化したDVDや関連商品の販売を行った。	6月～3年3月	6,600～500	248	—	世田谷文化生活情報センター	
	美術館ミュージアムショップの運営	臨時休館中(3/31～5/31)は休業 ミュージアムショップにおいて、ゆかりの作家関連商品、収蔵品のオリジナルグッズ等の直接販売、企画展図録、関連グッズ・書籍等の受託販売、他館等でのオリジナルグッズの委託販売を行った。	6月～3年3月	—	—	—	世田谷美術館及び3分館	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施(計画)場所
物品販売事業	文学館ミュージアムショップの運営	【4/1～6/30休業】 ミュージアムショップを運営し、展覧会に関連したオリジナルグッズの開発、制作及び販売、また、企画展図録、関連グッズ、書籍等の受託販売を行った。	7月～3年3月	—	—	—	世田谷文学館
飲食物提供事業	ロビーカフェの運営	【休業】 世田谷パブリックシアターのロビーカフェを委託により運営した。	—	—	—	10,000	世田谷文化生活情報センター
	レストランの運営	臨時休館中(3/31～5/31)は休業 世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」は、利用者等への飲食提供サービスおよび結婚式等パーティー(9組)を実施した。	6月～3年3月	—	11,724	35,000	世田谷美術館
	カフェの運営	臨時休館中(3/31～5/31)は休業 世田谷美術館内の地下喫茶「セタビカフェ」にて、来館者への飲食提供サービスを行った。	6月～3年3月	—	22,764	35,000	世田谷美術館

■各施設における新型コロナウイルス感染症の対策

施設名	感染予防対策等
世田谷文化生活情報センター 生活工房	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者向けのガイドライン改定・周知 (利用者名簿の作成、マスクの着用、利用前の手洗い・消毒、事前の検温等の徹底) ・ワークショップAのコミュニティキッチン利用については、使用に制限あり ・入口に、注意喚起(マスク着用、密の回避、発熱・咳等の症状がある方の入場制限)の掲出 ・十分な換気 ・入館前のアルコール消毒(もしくは手洗い)、マスク着用を徹底 ・従事スタッフの体調確認、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、事務所等の消毒 ・館内の抗ウイルスコーティング
世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者向けのガイドライン改定・周知 (利用者名簿の作成、マスクの着用、利用前の手洗い・消毒、事前の検温等の徹底) ・入口に、注意喚起(マスク着用、密の回避、発熱・咳等の症状がある方の入場制限)の掲出 ・十分な換気 ・入館前のアルコール消毒(もしくは手洗い)、マスク着用を徹底 ・従事スタッフの体調確認、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、出演者及びスタッフのうち必要な人についてPCR検査の実施 ・館内の抗ウイルスコーティング ・舞台と対面して座る観客最前列の適切な距離(最低2m)の確保
せたがや国際交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起(マスク着用、発熱・咳等の症状がある方の入場制限)の掲出 ・消毒液の設置 ・従事スタッフの体調確認、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、事務所等の消毒
世田谷美術館 (3分館含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起の看板等の掲出及び声かけ ・エントランスにおける手指消毒、検温、個人票の提出の実施 ・マスク着用の義務化 ・各所にアルコール消毒液の設置 ・次亜塩素酸水による什器等の消毒 ・対面対応が必要な箇所へのアクリル仕切り版の設置 ・区民ギャラリーおよび講堂利用者向けのガイドライン改定・周知 ・従事スタッフの体調確認、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、事務所等の消毒
世田谷文学館	<ul style="list-style-type: none"> ・入館時および施設利用、観覧時の間隔確保など注意喚起の看板等の掲出及び声かけ ・アルコール消毒液の各所設置(もしくは手洗い) ・入館時のマスク着用、検温実施、連絡先用紙記載、体調不良者の入館禁止 ・十分な換気対策 ・展示内容による事前予約システムの活用 ・ライブラリーのウイルスコーティング ・従事スタッフの体調確認、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底

3. 事業評価

(1)生活工房

日頃から区民の暮らしに身近な文化施設として、「暮らし×デザイン」を切り口に、参加型、体験型の事業を中心に展開してきた生活工房だが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、区民の拠点施設として十分に機能することができなかった。

年度初頭から臨時休館となり、施設再開後も終息が見通せない中、年間計画の大幅な見直し、事業の延期や中止の判断を余儀なくされた。一方で、中止、延期となった事業に代え、これまでの事業の成果物や記録資料等を活用して生活工房ギャラリーでの展示を継続し、区民に向けた文化芸術の情報発信に努めた。また、集会や対面に代わる事業手法として、インターネットや郵便等を介して自宅から参加できるワークショップを企画、実践したことで、アフターコロナの時代に向けて新たな可能性を拓くことができた。年度事業報告「アニュアルレポート」では、感染症拡大に揺さぶられた年ならではの企画として、コロナ禍の1年を年表形式で記録するとともに、コロナ禍の生活について関係者の声を集めて特集した。

市民活動支援コーナーや、セミナールーム・ワークショップルーム・コミュニティキッチン等、区民の活動拠点である施設運営にも大きな影響があった。6月16日以降、定員や時間、飲食等に制限を設けての施設再開となり、東京都や世田谷区のガイドラインに沿って対応した。施設の開館日数は276日（前年度は315日）、年間の事業参加者、施設入場者の合計は44,163人で、前年度の4割に満たなかった。

(2)世田谷パブリックシアター

新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月31日から6月15日まで臨時休館となり、その前後の期間を含めて多数の公演が中止を余儀なくされるなど、未曾有の事態に翻弄された年となった。大型の主催公演としては白井晃演出『ある馬の物語』が中止。予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて力を入れて準備していた海外招聘公演は特に影響が大きく、デフ・ウェスト・シアター（アメリカ）の『オルフェ』、フォルモサ・サーカス・アート（台湾）の『悟空～Before the Journey to the West～』、オクトーブル（フランス）『Midnight Sun／真夜中の太陽』、劇団 GUnaGU（スロバキア）『ウォッカとクロム』、Ate9（アメリカ）舞踊公演のすべてが中止となった。また、移動劇場「@ホーム公演」や受託事業「小学校古典芸能鑑賞教室」も中止となるなど、劇場外における事業にも大きな影響があった。

しかしながら、6月に休館が終了すると、演劇ワークショップ「デイ・イン・ザ・シアター」を皮切りに、シアター tram は『殺意（ストリップショウ）』（作：三好十郎、演出：栗山民也）、パブリックシアターは「せたがや夏いちらくご」で事業を再開し、以後は十分な感染症対策を取りつつ、活発に事業を推進してきた。それまではすべて中止となっていた地方へのツアー公演も、令和3年2～3月の『子午線の祀り』（作：木下順二、演出・出演：野村萬斎）で再開した。また、夏休み時期にシアター tram で上演予定だった「お話の森」については、時期を10月に、会場をパブリックシアターに移して実施した。さらに、例年近隣商店街等で開催している「三茶 de 大道芸」は会場をパブリックシアター、シアター tram に移し、人数を制限して実施したりするなど柔軟な対応をおこなった。

観客動員については、イベント等の開催制限に伴って定員の50%以下で実施した公演も多く、主劇場・トラム両劇場の年間入場者総数は、前年度(114,500人)比43%減の65,418人と、極めて厳しい結果となった。それでも、制限が一時的に定員の100%以下に緩和された10月に上演した『エレファント・マン』(バーナード・ポメランス作、森新太郎演出)は大入りの盛況となった。

こうした中で制作した作品群が極めて高い評価を得たことも特筆される。『殺意』は紀伊国屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞 大賞・最優秀女優賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞(演劇部門)を受賞。『エレファント・マン』は読売演劇大賞 杉村春子賞・優秀男優賞、「現代能楽集 X『幸福論』」(作:長田育恵・瀬戸山美咲、演出:瀬戸山美咲)は読売演劇大賞 最優秀スタッフ賞、選考委員特別賞、優秀演出家賞を受賞した。

普及啓発・人材養成事業では、「コミュニティプログラム」「学校・区内施設との連携プログラム」「研究育成プログラム」の3つの柱により、通年でワークショップ・レクチャー・研究会を実施しているが、こちらも新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

小中学校が休校となったこと等により、学校でのワークショップが大幅な回数減を余儀なくされたほか、長期休暇期間を中心としたこどものためのワークショップも、実施中の密を回避するため、募集人数を通常の半数程度に絞って実施した。しかし、各回とも参加申し込みが多く、事業の必要性が改めて確認された。また、「地域の物語」では参加者の人数を減らしただけでなく、予定していた国際共同作業も断念せざるを得なかった。観客育成プログラムも「舞台芸術のクリティック」を中止せざるを得なかったが、「世田谷パブリックシアターダンス食堂」については、トークをオンラインで実施することで当初計画数を大きく超える人数の参加者を得ることができた。

新型コロナウイルスの影響がどの程度続くかは不透明であるが、今後も、国内外の公共劇場や民間の実演団体などと積極的に連携して、作品創造及び人材交流の活性化、普及啓発・人材育成事業の充実、多様な料金システムの設定、柔軟な対応による鑑賞機会の拡充および多言語による情報発信、新たな観客の育成等、時代の流れを的確に捉えながら、事業展開を進めていく。

(3)音楽事業部

活動拠点となる場所を持たないまま、区民が身近な地域で様々な音楽に親しめる事業を、という使命を持つ音楽事業部にとって、文字通り、改めて活動を見つめ直す1年となった。

新型コロナウイルスによる活動休止後、最初に取り組んだ事業は「まちかどコンサート」。三軒茶屋の街角で、密集となることを避けるために、ほぼ告知なしに実施した。道行く人々はしばし足を止め、聞こえてくる音楽に耳を傾けていた。次いで、世田谷美術館での「連携コンサート」でも、来場者に同じく予期せぬ音楽を提供した。いずれの場合も、聴衆だけでなく、演奏者たちも人前で音楽をする喜びを語った。

一般の演奏会でも、事情は同じだった。聴衆も演奏家も共にする機会を喜び、大切にした。会場定員が半数以下に制限されてのこととはいえ、いずれも早々に完売となり、緊急事態宣言が出てもキャンセルは少なかった。「シリーズ和・華・調／静と動の響」は、笛の中川善雄と琵琶の北原香菜子が、プログラムを違えて1日2回の公演に応じてくれた。ピアノ・デュオの一人が来日できず、急な代役を務めた菊池洋子と、それを受け止めた児玉麻里の「アラウンド・ザ・ピアノ」は、ファン垂涎の顔合わせとなり、映像配信も行った。

区民に能動的な参加を促す事業は、より大きな影響が避けられない。延期もままならず、中止をやむなくされた事業もあったが、できるかぎり実現した。ワークショップをオンライン中心に切り替えた「Let's Sing ゴスペル！2020」、従来のコンテスト形式を過去の出場バンドや審査員・ゲストのステージに代えた「せたがやバンドバトル」、「ステイホーム」から発想して“家族”について考えた「せたがや音楽研究所」など、変化する状況に合わせて、柔軟に形態を変えて対応していった。

こうした中で、明るい光もあった。若手アーティストを支援する第6回「世田谷区芸術アワード“飛翔”」受賞記念公演は、ジャズと生け花が連動していくという、募集課題の“新しい音楽会”にふさわしいものとなった。東京2020NIPPONフェスティバル共催プログラム「せたがやキックオフコンサート」中止に伴い、3年間のプロジェクト「Setagaya 太鼓塾」も中止に追い込まれたが、代替に、「2020 FINAL CONCERT せたがや和の響演」を開催。練習日程も公演会場も縮小されたが、林英哲塾長に導かれた子どもたちの力は縮まることなく、熱気あふれるものになった。もっとも辛い思いをしたのは、「せたがやジュニアオーケストラ」。中止と制約ばかりの試練の1年となったが、最後に「定期演奏会」に代わる「関係者のみの公開リハーサル」を実施。全員が集うのは3回目という難条件を乗り越え、渾身の演奏で会場を一体化させた。

活動は制約を受けても、可能性に制約はない。どのような「新しい生活様式」が訪れても、人々の生活に寄り添う音楽を届け続けていきたい。

(4)国際事業部

主に在住外国人への多言語での情報提供、相談窓口の案内、多文化共生や国際交流活動をしている地域活動団体の紹介などを行う“せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)”は、新型コロナウイルスの影響で外出を控える人が増える中、感染症対策を講じながら施設を運営した。施設内では、世田谷区の姉妹都市交流の紹介、国際協力機構(JICA)や国境なき医師団の活動紹介、区内大学の学生による研究成果の発表などの展示、区施設や様々な団体に協力を得るなどした企画の実施など工夫することで、6月以降の来館者は1,895人に達した。

4月から9月までの間に計画していた講座やイベントは全て中止することになったが、10月以降、感染症対策を講じながら事業を実施した。区内で多文化共生や国際交流に取り組む団体の情報交換会を、一般の人にも公開した形で行う「外国人と関わる団体のオープン情報交換会」のほか、海外の文化や生活の違い、価値観の違い等を知ることができる「多文化理解講座」を4回実施し、各回、参加者から好評を得ることができた。

また、外国人が日本語を学ぶ場として「日本語コミュニケーション講座」を水曜日コース(オンライン)と土曜日コース(教室形式)を実施し、様々な国や地域の出身者に参加していただくことができた。

今後も、新型コロナウイルスの状況を見ながら、外国人と日本人が互いに理解し、地域で交流できる事業展開を進めていく。

(5)世田谷美術館

令和2年度は、事業報告の通り、新型コロナウイルス感染症の影響によって、多くの事業が中止、延期と

なった。こうしたなかで、まず取り組むべきことは、職員の安全確保、職員の意思疎通、そして、緊急時における事業継続の方法論の策定であり、こうした基盤を確実に構築することが、館運営の最重要課題となった。世田谷美術館では、Webを活用したコミュニケーション・ツールである Slack を導入し、在宅勤務であっても、職員の安否確認、情報共有、意見交換、意思疎通を可能とすることから感染症対策を開始し、このシステム導入によって、臨時休館期間も円滑に各種業務を持続させることができた。

展覧会事業の中止、延期に付帯する作業と並行し、令和2年度の事業継続を検討するなかで生まれた企画が「作品のない展示室」(7月4日～8月27日)であった。社会の意表を突く企画として、多くのメディアに取り上げられ、結果として約16,000人の来場者を得て、世田谷美術館の建築を堪能していただいた。そして、収蔵作品をフルに活用し、「再読!! 5つの物語」(9月5日～12月6日)、「器と絵筆—魯山人、ルソー、ポーシャンほか」(2021年1月5日～2月28日)を企画・実施し、美術館としてのこれまでの蓄積と経験を発揮することができた。さらに、パンデミックのさなかではあるが、さまざまな国際的な協力を得て、当初計画から約2カ月の延期で「アイノとアルヴァ 二人のアルト」(3月20日～6月20日)を開催するに至った。本展では、オンラインによる時間予約制を導入し、密状態を回避、安定的に来館者を迎えることに結びついている。

普及事業についても、ほとんどの事業が中止となったが、早い段階からWeb上で発信する動画コンテンツの制作を開始した。実技系、美術館を舞台としたドラマ仕立てのプログラム、パフォーマンス・アーツの記録映像や音声など、多種多様なコンテンツは好評を得ている。

作品の収集・保管・整理や、調査・研究については円滑に例年通りの成果を得ることができた。

(6)世田谷文学館

平成7年に開館した世田谷文学館は、令和2年に四半世紀を迎えた。時代の変化や様々な状況にさらされる中、その時々を精一杯の力で乗り切ってきた日々の重みをあらためて思う。この間、多大なご協力をいただいた関係者の方々、あたたかく見守ってくださった来館者のみなさまに心からの感謝を申し上げ、ここまで共に歩んできたすべての職員とこの想いを分かち合いたい。

そして迎えた記念すべき25周年目は、世界的なパンデミックの波に翻弄されたわけだが、世田谷文学館はこのような状況でも、今までと同様、出来る限りの役割を果たそうとする強い意志で乗りきることができたと思う。

まず基幹事業である「どこでも文学館」は、活動のままならない期間があっても、今までの経験に基づいたノウハウを駆使して出張展示をコンスタントに実施、例年と同様の実績となった。またワークショップもいち早くオンライン化を進め、今後の多彩な活動につなげることができた。

資料関連事業では、データ公開を本格的に開始し、当館の特色ある収蔵品・森鷗外関連資料を広く発信することができた。続いて、植草甚一資料ほかの公開準備も進めている。

そして展覧会は、創作にかける膨大なエネルギーを放つ作家と作品をご紹介することができた。3つの展覧会(「安野モヨコ展 ANNORMAL」「没後10年 井上ひさし展」「あしたのために あしたのジョー!展」)はいずれも、当館が大事にしてきた、作家・作品と来館者がともに作り上げる「展示空間」を実現するものとなった。作家たちの創作に対するゆるぎない情熱が訪れた人たちを勇気づけ、来館者の方々には、必要に迫られたディスタンスや静寂さえも作家たちとの豊かな対話時間に変えてくれた。

劇作家の井上ひさしは「劇場」は「人間がやってきたこと、悲しみ、英知」を、いつでも取り戻せる「記憶装置」であるといった。この言葉にあやかるなら、世田谷文学館もまた、訪れる人たちとともに紡ぐ言葉や想いを大切に刻みながら、未来につなぐ場所であり続けたいと願う。次の節目にも自信をもってそう言えるように、これからも歩みを進めていきたい。

4. 重要な契約の概要

契約件名	契約年月日	相手方	契約の概要
世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定	平成29年4月1日	世田谷区長	<p>1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区立世田谷美術館条例第18条、世田谷区立世田谷文学館条例第18条及び世田谷区立世田谷文化生活情報センター条例第20条の規定により、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1) 世田谷区立世田谷美術館</p> <p>① 美術館条例第2条第2号から第8号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② 美術館の利用の承認等に関する業務</p> <p>③ 美術館の施設及び施設の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>(2) 世田谷区立世田谷文学館</p> <p>① 文学館条例第2条第2号から第7号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② 文学館の利用の承認等に関する業務</p> <p>③ 文学館の施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>(3) 世田谷区立世田谷文化生活情報センター</p> <p>① センター条例第2条各号に規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② センターの利用の承認に関する業務のうち、世田谷区が指定する業務</p> <p>③ センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>2 指定期間は平成29年4月1日から平成34年(令和4年)3月31日までの5年間とする。</p>
世田谷区文化施設の管理に関する年度協定	令和2年4月1日	世田谷区長	<p>1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定及び年度協定の仕様書に定める業務を行う。</p> <p>2 協定期間は令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間とする。</p>

5. 登記事項

理事変更登記

令和2年9月30日 登記

令和2年9月30日付 理事変更（1名辞任）

6. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回	開催日	議案番号	件名
第1回 定時 (書面決議)	令和2年 5月27日	議案第1号	令和元年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第2号	令和元年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
		議案第3号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団事業助成の受諾について
		議案第4号	令和2年度第1回評議員会の開催について
		報告事項	理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況について
第2回 定時 (書面決議)	令和3年 3月1日	議案第5号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第6号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第7号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員給与規程の一部改正について
		議案第8号	公益財団法人せたがや文化財団専門職員給与規程の一部改正について
		議案第9号	公益財団法人せたがや文化財団会計事務規程の一部改正について
		議案第10号	令和2年度第2回評議員会の開催について
		報告事項	理事長及び常務理事の職務執行状況について
第3回 臨時 (書面決議)	令和3年 3月15日	議案第11号	公益財団法人せたがや文化財団常務理事の選定について
第4回 臨時 (書面決議)	令和3年 3月28日	議案第12号	令和2年度第3回評議員会の開催について
		報告事項	令和2年度事業の実施状況について(令和3年2月9日時点)
			第5期指定管理提案書の検討状況について
			世田谷文学館の名誉館長について

(2) 評議員会

回	開催日	議案番号	件名
第1回 定時 (書面決議)	令和2年 6月16日	議案第1号	令和元年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第2号	令和元年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
第2回 臨時 (書面決議)	令和3年 3月8日	議案第3号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第1次)について
		議案第4号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第5号	公益財団法人せたがや文化財団理事の選定について
		報告事項	令和2年度事業の実施状況について(令和3年2月9日時点)
			せたがや文化財団諸規程の一部改正について
	令和4年度からの第5期指定管理提案書の検討状況		
第3回 臨時 (書面決議)	令和3年 3月30日	議案第6号	公益財団法人せたがや文化財団監事の選任について

7. 役員名簿

(令和3年3月31日現在)

【理事:10名】

【任期:令和元年6月18日から令和3年度定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
理事長	永井 多恵子	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター館長事務取扱
常務理事	酒井 忠康	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館館長
常務理事	菅野 昭正	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館館長
常務理事	城 倉 茂	公益財団法人せたがや文化財団 事務局長
理事	池松 俊雄	元日本テレビ放送網株式会社取締役
理事	桑島 俊彦	東京都商店街振興組合連合会理事長
理事	竹内 修司	前世田谷文学館友の会会長
理事	田中 富美子	弁護士
理事	名見 耶 明	元公益財団法人五島美術館副館長
理事	湯川 れい子	音楽評論家・作詞家

【監事:2名】

【任期:令和元年6月18日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで】

監事	鈴木 重雄	公認会計士・税理士
監事	工藤 郁淳	世田谷区会計管理者

8. 評議員名簿

(令和3年3月31日現在)

【評議員:11名】

【任期:令和元年6月18日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで】

氏名	備考
秋山 光文	お茶の水女子大学名誉教授、目黒区美術館館長
朝生 公章	区内企業代表
大笹 吉雄	演劇評論家
木村 慶子	医学博士・前慶應義塾大学教授
佐々木 健二	弁護士
島田 成年	東京商工会議所世田谷支部副会長
田村 哲夫	学校法人渋谷教育学園理事長、学校法人青葉学園理事長
丹治 誠	元日本銀行理事
丹羽 正明	音楽評論家
萩原 朔美	多摩美術大学名誉教授、前橋文学館館長
山野井 崇二	下馬新生自治会会長

9. 財団幹部名簿

(令和3年3月31日現在)

職務名	氏名	備考
理事長	永井 多恵子	
事務局長	城 倉 茂	常務理事
統括部長	山 田 実	
世田谷文化生活情報センター館長	永井 多恵子	理事長事務取扱
副館長	松 下 洋章	
総務部長	松 下 洋章	副館長事務取扱
生活工房室長	岩 船 弘美	
劇場部長	小 林 千洋	
技術部長	熊 谷 明人	
音楽事業部長	蓑 輪 勇二	
国際事業部長	松 下 洋章	副館長事務取扱
世田谷美術館館長	酒 井 忠康	常務理事
副館長	橋 本 善八	
総務部長	山 田 実	事務局統括部長兼務
学芸部長	橋 本 善八	副館長事務取扱
世田谷文学館館長	菅 野 昭正	常務理事
副館長	花 房 千里	
総務部長	花 房 千里	副館長事務取扱
学芸部長	瀬 川 ゆき	

芸術監督	野 村 萬 斎	
音楽監督	池 辺 晋 一 郎	

財 務 諸 表

1. 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度		前年度		増 減	
I 資産の部						
1. 流動資産						
①現金預貯金	510,684,400		387,391,228		123,293,172	
②未収入金	243,693,540		127,226,000		116,467,540	
③未収消費税	0		6,005,500		△ 6,005,500	
④商品	36,167,608		30,693,987		5,473,621	
⑤貯蔵品	436,429		593,874		△ 157,445	
⑥前払金	2,473,905		2,181,835		292,070	
流 動 資 産 合 計	793,455,882		554,092,424		239,363,458	
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
①国公債	653,404,851		654,511,816		△ 1,106,965	
②預貯金	146,595,149		145,488,184		1,106,965	
基 本 財 産 合 計	800,000,000		800,000,000		0	
(2) 特定資産						
①退職給付引当資産	272,566,480		286,978,535		△ 14,412,055	
②文化芸術充実積立資産	5,370,000		6,030,000		△ 660,000	
③次世代育成積立資産	3,190,000		6,030,000		△ 2,840,000	
④周年事業積立資産	3,800,000		3,800,000		0	
⑤使途指定寄付積立資産	5,844,000		0		5,844,000	
特 定 資 産 合 計	290,770,480		302,838,535		△ 12,068,055	
(3) その他の固定資産						
①建物附属設備	51,853,298		50,805,943		1,047,355	
減価償却累計額	△ 29,172,909	22,680,389	△ 25,572,034	25,233,909	△ 3,600,875	△ 2,553,520
②器具備品	117,617,981		109,880,110		7,737,871	
減価償却累計額	△ 79,025,308	38,592,673	△ 74,889,144	34,990,966	△ 4,136,164	3,601,707
③リース資産	78,518,668		78,265,668		253,000	
減価償却累計額	△ 25,887,515	52,631,153	△ 12,939,830	65,325,838	△ 12,947,685	△ 12,694,685
④ソフトウェア	16,042,535		22,716,499		△ 6,673,964	
⑤長期前払費用	0		1,819,633		△ 1,819,633	
⑥保証金等	60,000		60,000		0	
⑦大規模事業等実施積立金	31,500,000		31,500,000		0	
⑧経営安定化積立金	215,000,000		215,000,000		0	
⑨事故対策積立金	90,000,000		90,000,000		0	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	466,506,750		486,646,845		△ 20,140,095	
固 定 資 産 合 計	1,557,277,230		1,589,485,380		△ 32,208,150	
資 産 合 計	2,350,733,112		2,143,577,804		207,155,308	
II 負債の部						
1. 流動負債						
①未払金	328,820,556		215,968,116		112,852,440	
②前受金	1,413,227		842,600		570,627	
③預り金	106,426,076		22,192,242		84,233,834	
④賞与引当金	29,919,705		30,597,766		△ 678,061	
⑤リース債務	15,391,317		15,504,797		△ 113,480	
流 動 負 債 合 計	481,970,881		285,105,521		196,865,360	
2. 固定負債						
①退職給付引当金	272,566,480		286,978,535		△ 14,412,055	
②リース債務	38,303,932		50,402,666		△ 12,098,734	
固 定 負 債 合 計	310,870,412		337,381,201		△ 26,510,789	
負 債 合 計	792,841,293		622,486,722		170,354,571	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
①受取寄附金	5,844,000		0		5,844,000	
②世田谷区出捐金	800,000,000		800,000,000		0	
指定正味財産合計	805,844,000		800,000,000		5,844,000	
(うち基本財産への充当額)	(800,000,000)		(800,000,000)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(5,844,000)		(0)		(5,844,000)	
2. 一般正味財産	752,047,819		721,091,082		30,956,737	
(うち基本財産への充当額)					(0)	
(うち特定資産への充当額)	(18,204,000)		(15,860,000)		(2,344,000)	
正 味 財 産 合 計	1,557,891,819		1,521,091,082		36,800,737	
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	2,350,733,112		2,143,577,804		207,155,308	

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	4,118,002	4,248,555	△ 130,553
	基本財産運用益	4,118,002	4,248,555	△ 130,553
	特定資産運用益	797,408	836,281	△ 38,873
	特定資産運用益	797,408	836,281	△ 38,873
	事業収益	1,020,579,291	1,159,059,673	△ 138,480,382
	事業運営収益	467,817,376	615,153,793	△ 147,336,417
	区事業等受託収益	552,761,915	543,905,880	8,856,035
	受取区補助金	1,322,108,000	1,293,625,000	28,483,000
	受取区補助金	1,322,108,000	1,293,625,000	28,483,000
	受取助成金等	76,196,297	68,120,623	8,075,674
	受取助成金等	76,196,297	68,120,623	8,075,674
	受取寄附金	369,340	31,500	337,840
	受取寄附金	369,340	31,500	337,840
	受取負担金	17,221,496	16,455,161	766,335
	受取負担金	17,221,496	16,455,161	766,335
	雑収益	488,805	314,141	174,664
	雑収益	203,785	154,611	49,174
	受取利息	285,020	159,530	125,490
	経常収益計	2,441,878,639	2,542,690,934	△ 100,812,295
	(2) 経常費用			
	事業費	2,403,518,784	2,553,316,315	△ 149,797,531
	給料手当等	744,876,031	726,036,719	18,839,312
	賞与引当金繰入	29,844,155	30,522,906	△ 678,751
	退職給付費用	32,939,336	31,179,799	1,759,537
	交際費	176,896	727,415	△ 550,519
	式典費	0	1,601,551	△ 1,601,551
	会議費	215,359	327,334	△ 111,975
	旅費交通費	2,483,803	9,428,578	△ 6,944,775
	通信運搬費	9,314,948	11,930,179	△ 2,615,231
	消耗経費	39,207,537	39,072,564	134,973
	印刷製本費	31,494,307	54,134,284	△ 22,639,977
	保険料	3,868,038	5,075,018	△ 1,206,980
	修繕費	24,394,127	15,785,720	8,608,407
	光熱水費	6,685,766	8,231,600	△ 1,545,834
	諸謝金	24,153,724	42,608,171	△ 18,454,447
	支払負担金	58,714,444	24,316,218	34,398,226
	委託費	800,359,971	846,359,022	△ 45,999,051
	使用料及び賃借料	44,748,778	43,103,212	1,645,566

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
支払手数料	31,137,481	19,247,171	11,890,310
広報宣伝費	55,398,412	73,531,602	△ 18,133,190
臨時雇賃金	63,501,390	73,399,228	△ 9,897,838
租税公課	18,756,072	9,196,450	9,559,622
上演出演料	208,017,501	258,797,451	△ 50,779,950
舞台費	90,433,007	132,533,808	△ 42,100,801
制作企画費	42,565,787	65,276,707	△ 22,710,920
商品仕入	1,541,776	3,757,761	△ 2,215,985
減価償却費	36,720,136	26,015,084	10,705,052
支払利息（リース債務）	1,962,602	1,119,762	842,840
雑費	7,400	1,001	6,399
管理費	6,885,587	11,093,152	△ 4,207,565
役員報酬	4,477,893	8,053,909	△ 3,576,016
給料手当等	1,839,523	2,225,402	△ 385,879
賞与引当金繰入	75,550	74,860	690
退職給付費用	51,523	44,963	6,560
通信運搬費	51,212	43,163	8,049
消耗経費	1,741	2,078	△ 337
保険料	14,750	14,700	50
委託費	0	303,480	△ 303,480
減価償却費	373,395	330,597	42,798
経 常 費 用 計	2,410,404,371	2,564,409,467	△ 154,005,096
当期経常増減額	31,474,268	△ 21,718,533	53,192,801
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
流動資産除却損	517,524	1,680,291	△ 1,162,767
流動資産除却損	517,524	1,680,291	△ 1,162,767
商品除却損	517,524	1,680,291	△ 1,162,767
固定資産除却損	7	549,603	△ 549,596
固定資産除却損	7	549,603	△ 549,596
固定資産除却損	7	549,603	△ 549,596
雑損	0	1,593	△ 1,593
雑損	0	1,593	△ 1,593
雑損	0	1,593	△ 1,593
経 常 外 費 用 計	517,531	2,231,487	△ 1,713,956
当期経常外増減額	△ 517,531	△ 2,231,487	1,713,956
他会計振替前当期一般正味財産増減額	30,956,737	△ 23,950,020	54,906,757
法人税、都民税及び事業税	0	1,050,900	△ 1,050,900
当期一般正味財産増減額	30,956,737	△ 25,000,920	55,957,657
一般正味財産期首残高	721,091,082	746,092,002	△ 25,000,920
一般正味財産期末残高	752,047,819	721,091,082	30,956,737

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
II	指定正味財産の部			
	受取寄附金	5,844,000	0	5,844,000
	基本財産運用益	4,118,002	4,248,555	△ 130,553
	一般正味財産への振替額	4,118,002	4,248,555	△ 130,553
	当期指定正味財産増減額	5,844,000	0	5,844,000
	指定正味財産期首残高	800,000,000	800,000,000	0
	指定正味財産期末残高	805,844,000	800,000,000	5,844,000
III	正味財産期末残高	1,557,891,819	1,521,091,082	36,800,737

(1)損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表

科 目		公益目的事業会計			
		公1		公2	小計
		文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業			
I 一般正味財産の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
	基本財産運用益	0	0	0	
	基本財産運用益	0	0	0	
	基本財産運用益	0		0	
	特定資産運用益	797,408	0	797,408	
	特定資産運用益	797,408	0	797,408	
	特定資産運用益	797,408		797,408	
	事業収益	1,007,461,456	94,500	1,007,555,956	
	事業運営収益	454,699,541	94,500	454,794,041	
	事業運営収益	454,699,541	94,500	454,794,041	
	区事業等受託収益	552,761,915	0	552,761,915	
	指定管理受託収益	519,537,615	0	519,537,615	
	区事業受託収益	33,224,300	0	33,224,300	
	受取区補助金	1,280,494,000	37,156,000	1,317,650,000	
	受取区補助金	1,280,494,000	37,156,000	1,317,650,000	
	受取区補助金	1,280,494,000	37,156,000	1,317,650,000	
	受取助成金等	74,196,297	0	74,196,297	
	受取助成金等	74,196,297	0	74,196,297	
	受取助成金	74,196,297	0	74,196,297	
	受取寄附金	369,340	0	369,340	
	受取寄附金	369,340	0	369,340	
	受取寄附金	369,340	0	369,340	
	受取負担金	13,332,269	0	13,332,269	
	受取負担金	13,332,269	0	13,332,269	
	受取負担金	13,332,269	0	13,332,269	
	雑収益	334,347	0	334,347	
	雑収益	179,327	0	179,327	
	雑収益	179,327	0	179,327	
	受取利息	155,020	0	155,020	
	受取利息	155,020	0	155,020	
経常収益計		2,376,985,117	37,250,500	2,414,235,617	
(2) 経常費用					
	事業費	2,350,141,864	34,308,416	2,384,450,280	
	給料手当等	728,700,894	15,265,375	743,966,269	

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	4,118,002		4,118,002
0	0	0	4,118,002		4,118,002
0	0	0	4,118,002		4,118,002
0	0	0	0		797,408
0	0	0	0		797,408
0	0	0	0		797,408
10,182,133	2,841,202	13,023,335	0		1,020,579,291
10,182,133	2,841,202	13,023,335	0		467,817,376
10,182,133	2,841,202	13,023,335	0		467,817,376
0	0	0	0		552,761,915
0	0	0	0		519,537,615
0	0	0	0		33,224,300
0	0	0	4,458,000		1,322,108,000
0	0	0	4,458,000		1,322,108,000
0	0	0	4,458,000		1,322,108,000
2,000,000	0	2,000,000	0		76,196,297
2,000,000	0	2,000,000	0		76,196,297
2,000,000	0	2,000,000	0		76,196,297
0	0	0	0		369,340
0	0	0	0		369,340
0	0	0	0		369,340
253,540	3,635,687	3,889,227	0		17,221,496
253,540	3,635,687	3,889,227	0		17,221,496
253,540	3,635,687	3,889,227	0		17,221,496
24,458	0	24,458	130,000		488,805
24,458	0	24,458	0		203,785
24,458	0	24,458	0		203,785
0	0	0	130,000		285,020
0	0	0	130,000		285,020
12,460,131	6,476,889	18,937,020	8,706,002	0	2,441,878,639
14,671,455	4,397,049	19,068,504			2,403,518,784
789,628	120,134	909,762			744,876,031

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
	賞与引当金繰入	29,451,226	311,019	29,762,245
	退職給付費用	32,826,623	2,721	32,829,344
	交際費	176,896	0	176,896
	会議費	215,359	0	215,359
	旅費交通費	2,478,483	5,320	2,483,803
	通信運搬費	8,179,258	248,696	8,427,954
	消耗経費	36,616,801	2,408,811	39,025,612
	印刷製本費	31,452,947	41,360	31,494,307
	保険料	3,851,268	16,770	3,868,038
	修繕費	24,106,702	287,425	24,394,127
	光熱水費	2,824,484	0	2,824,484
	諸謝金	23,878,676	275,048	24,153,724
	支払負担金	58,694,444	20,000	58,714,444
	委託費	778,191,861	14,430,853	792,622,714
	使用料及び賃借料	41,434,517	821,722	42,256,239
	支払手数料	30,496,906	1,327	30,498,233
	広報宣伝費	55,397,890	522	55,398,412
	臨時雇賃金	63,376,314	125,076	63,501,390
	租税公課	18,478,058	0	18,478,058
	上演出演料	208,017,501	0	208,017,501
	舞台費	90,433,007	0	90,433,007
	制作企画費	42,565,787	0	42,565,787
	商品仕入	0	0	0
	減価償却費	36,325,960	46,371	36,372,331
	支払利息（リース債務）	1,962,602	0	1,962,602
	雑費	7,400	0	7,400
	管理費			
	役員報酬			
	給料手当等			
	賞与引当金繰入			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	減価償却費			
	経常費用計	2,350,141,864	34,308,416	2,384,450,280
	当期経常増減額	26,843,253	2,942,084	29,785,337

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
80,508	1,402	81,910			29,844,155
108,559	1,433	109,992			32,939,336
0	0	0			176,896
0	0	0			215,359
0	0	0			2,483,803
782,384	104,610	886,994			9,314,948
181,925	0	181,925			39,207,537
0	0	0			31,494,307
0	0	0			3,868,038
0	0	0			24,394,127
158,629	3,702,653	3,861,282			6,685,766
0	0	0			24,153,724
0	0	0			58,714,444
7,737,257	0	7,737,257			800,359,971
2,410,692	81,847	2,492,539			44,748,778
639,248	0	639,248			31,137,481
0	0	0			55,398,412
0	0	0			63,501,390
170,700	107,314	278,014			18,756,072
0	0	0			208,017,501
0	0	0			90,433,007
0	0	0			42,565,787
1,541,776	0	1,541,776			1,541,776
70,149	277,656	347,805			36,720,136
0	0	0			1,962,602
0	0	0			7,400
			6,885,587		6,885,587
			4,477,893		4,477,893
			1,839,523		1,839,523
			75,550		75,550
			51,523		51,523
			51,212		51,212
			1,741		1,741
			14,750		14,750
			373,395		373,395
14,671,455	4,397,049	19,068,504	6,885,587	0	2,410,404,371
△ 2,211,324	2,079,840	△ 131,484	1,820,415	0	31,474,268

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
2	経常外増減の部			
	(1) 経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
	(2) 経常外費用			
	流動資産除却損	9,307	0	9,307
	流動資産除却損	9,307	0	9,307
	商品除却損	9,307		9,307
	固定資産除却損	7	0	7
	固定資産除却損	7	0	7
	固定資産除却損	7		7
	経常外費用計	9,314	0	9,314
	当期経常外増減額	△ 9,314	0	△ 9,314
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	26,833,939	2,942,084	29,776,023
	他会計振替額	0	0	0
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	26,833,939	2,942,084	29,776,023
	一般正味財産期首残高	589,457,728	△ 2,856,640	586,601,088
	一般正味財産期末残高	616,291,667	85,444	616,377,111
II	指定正味財産の部			
	受取寄附金	5,844,000	0	5,844,000
	基本財産運用益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	5,844,000	0	5,844,000
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	5,844,000	0	5,844,000
III	正味財産期末残高	622,135,667	85,444	622,221,111

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	0	0	0
508,217	0	508,217	0		517,524
508,217	0	508,217	0		517,524
508,217		508,217	0		517,524
0	0	0	0		7
0	0	0	0		7
		0	0		7
508,217	0	508,217	0	0	517,531
△ 508,217	0	△ 508,217	0	0	△ 517,531
△ 2,719,541	2,079,840	△ 639,701	1,820,415	0	30,956,737
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
△ 2,719,541	2,079,840	△ 639,701	1,820,415	0	30,956,737
118,398,241	11,344,466	129,742,707	4,747,287	0	721,091,082
115,678,700	13,424,306	129,103,006	6,567,702	0	752,047,819
0	0	0	0		5,844,000
0	0	0	4,118,002		4,118,002
0	0	0	4,118,002	0	4,118,002
0	0	0	0	0	5,844,000
0	0	0	800,000,000	0	800,000,000
0	0	0	800,000,000	0	805,844,000
115,678,700	13,424,306	129,103,006	806,567,702	0	1,557,891,819

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、取得価額と債券金額の差が金利の調整と認められるため償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品については、最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の評価方法

有形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

無形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員に対する退職給付金の支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

賞与引当金については、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

平成20年4月以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、「リース取引に関する会計基準」等を適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引にかかる方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上している。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国 公 債	654,511,816	200,000,000	201,106,965	653,404,851
定 期 預 貯 金	140,000,000	0	0	140,000,000
普 通 預 金	5,488,184	201,106,965	200,000,000	6,595,149
小 計	800,000,000	401,106,965	401,106,965	800,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	286,978,535	28,757,751	43,169,806	272,566,480
文化芸術充実積立資産	6,030,000	3,600,000	4,260,000	5,370,000
次世代育成積立資産	6,030,000	0	2,840,000	3,190,000
周年事業積立資産	3,800,000	0	0	3,800,000
使途指定寄附積立資産	0	5,844,000	0	5,844,000
小 計	302,838,535	38,201,751	50,269,806	290,770,480
合 計	1,102,838,535	439,308,716	451,376,771	1,090,770,480

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
国 公 債	653,404,851	(653,404,851)	—	—
定 期 預 貯 金	140,000,000	(140,000,000)	—	—
普 通 預 金	6,595,149	(6,595,149)	—	—
小 計	800,000,000	(800,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	272,566,480			(272,566,480)
文化芸術充実積立資産	5,370,000		(5,370,000)	
次世代育成積立資産	3,190,000		(3,190,000)	
周年事業積立資産	3,800,000		(3,800,000)	
使途指定寄附積立資産	5,844,000	(5,844,000)		
小 計	290,770,480	(5,844,000)	(12,360,000)	(272,566,480)
合 計	1,090,770,480	(805,844,000)	(12,360,000)	(272,566,480)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
静岡県公債 平成 25 年第 4 回	146,057,310	148,847,000	2,789,690
東京都公債 第 741 回	100,000,000	101,662,900	1,662,900
第 116 回名古屋高速道路債券	107,347,541	107,201,000	△146,541
第 138 回名古屋高速道路債券	100,000,000	99,830,000	△170,000
第 155 回名古屋高速道路債券	200,000,000	197,540,000	△2,460,000
第 325 回利付国債 10 年	100,125,251	101,363,300	1,238,049
第 374 回大阪府公募公債	10,181,526	10,215,000	33,474
合計	763,711,628	766,659,200	2,947,572

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和 2 年度 世田谷区補助金	世田谷区	0	1,322,108,000	1,322,108,000	0	
芸術文化振興基金助成金	独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	57,289,957	57,289,957	0	
文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染症防止対策事業)	文化庁	0	5,068,333	5,068,333	0	
持続化給付金	中小企業庁	0	2,000,000	2,000,000	0	
地域の文化・芸術活動助成事業	一般財団法人 地域創造	0	1,200,000	1,200,000	0	
民間助成金	12 件	0	10,638,007	10,638,007	0	
合計		0	1,398,304,297	1,398,304,297	0	

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末
						役員	事業				
基本財産の出資	世田谷区	東京都世田谷区	—	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人せたがや文化財団に対する補助金交付 ・世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定 ・事業の業務委託等 	—	—	補助金事業の委託	財政支援	1,322,108,000	受取補助金等	0
							業務委託	指定管理	519,537,615	区受託事業収益	0
							業務委託	事業の業務委託、実施委託	33,224,300	区受託事業収益	0

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	4,118,002
合 計	4,118,002

8. その他

平成23年4月1日に公益財団法人に移行している。

3. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	30,597,766	29,919,705	30,597,766		29,919,705

退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	286,978,535	28,757,751	43,169,806		272,566,480

4. 財産目録

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	7,777,880
預貯金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店 三菱UFJ銀行世田谷支店 みずほ銀行世田谷支店 三井住友銀行成城支店 三井住友銀行自由が丘支店 りそな銀行世田谷支店 昭和信用金庫本店 昭和信用金庫三軒茶屋支店 世田谷信用金庫用賀支店 世田谷信用金庫駒沢支店 世田谷信用金庫烏山支店 世田谷桜丘三郵便局 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店 ゆうちょ銀行	運転資金として	387,240,147 3,697,130 3,820,818 406,725 35,827,454 13,616 105,561 565,374 65,455,872 638,631 2,243,696 118,390 2,018,270 666,449 88,387
未収入金		区受託料、助成金、チケット収入など	243,693,540
商品	各館ショップ等	ミュージアムショップ等の商品	36,167,608
貯蔵品	手元保管	収入印紙、郵券等	436,429
前払金		翌年度諸経費等	2,473,905
流動資産合計			793,455,882
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	静岡県公債 平成25年第4回 東京都公債 第741回 第116回名古屋高速道路債券 第138回名古屋高速道路債券 第155回名古屋高速道路債券	基本財産による果実を法人全体の管理費に充てるための財産 146,057,310 100,000,000 107,347,541 100,000,000 200,000,000
	定期預貯金	東京中央農協千歳支店 昭和信用金庫本店 りそな銀行世田谷支店	基本財産による果実を法人全体の管理費に充てるための財産 120,000,000 10,000,000 10,000,000
	普通預金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	基本財産による果実を法人全体の管理費に充てるための財産 6,595,149
特定資産	退職給付引当資産	・有価証券 第325回利付国債 第374回大阪府公募債 ・定期預金 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店 昭和信用金庫本店 ・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産 100,125,251 10,181,526 78,890,000 22,100,000 10,000,000 51,269,703

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	文化芸術充実積立資産	・定期預金 東京中央農協千歳支店	特定費用準備資金 (公益目的)として 管理	5,370,000
	次世代育成積立資産	・定期預金 東京中央農協千歳支店	特定費用準備資金 (公益目的)として 管理	3,190,000
	周年事業積立資産	・定期預金 三井住友銀行自由が丘支店 世田谷目黒農協本店	特定費用準備資金 (公益目的)として 管理	800,000 3,000,000
	使途指定寄付積立資産	・普通預金 三井住友銀行自由が丘支店	せたがや文化財団の 自主事業のための資 金として管理	5,844,000
その他の 固定資産	建物附属設備	スポットライト、配線設備等	共有財産で次の割合 で用に供している。 公益目的事業：97.9%	22,204,101
			収益事業：2.1%	476,288
	器具備品	映像・音響システム、電動車 椅子、展示ケース等	共有財産で次の割合 で用に供している。 公益目的事業：98.0%	37,820,820
			収益事業：2.0%	771,853
	リース資産	サーバー、パソコン等一式	共有財産で次の割合 で用に供している。 公益目的事業：97.6%	51,368,006
			収益事業：0.4%	210,524
	ソフトウェア	財団会計システム、美術館・ 文学館収蔵品管理システム等	共有財産で次の割合 で用に供している。 公益目的事業：94.9%	15,224,366
管理費：5.1%			818,169	
敷金・保証金	駐車場保証金	公益目的事業の用に 供している。	60,000	
大規模事業等実施積立金	・定期預金 三菱UFJ銀行世田谷支店 東京中央農協千歳支店	公益目的事業に充当 する積立資産	15,000,000 16,500,000	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の 固定資産	経営安定化積立金	・定期預金	公益目的事業に充当 する積立資産	
		昭和信用金庫本店		60,000,000
		東京中央農協千歳支店		22,550,000
	事故対策積立金	世田谷目黒農協本店	公益目的事業に充当 する積立資産	124,900,000
		・普通預金		
		三井住友銀行自由が丘支店		7,550,000
	・定期預金			
	世田谷信用金庫用賀支店		30,000,000	
	世田谷信用金庫駒沢支店		30,000,000	
	世田谷信用金庫烏山支店		30,000,000	
固定資産合計				1,557,277,230
資産合計				2,350,733,112
(流動負債)				
	未払金		今年度事業費等	309,631,540
			未払消費税等	11,392,000
			未払社会保険料等	7,557,302
			チケット払い戻し分	239,714
	前受金		翌年度事業に伴う先 方負担金	1,413,227
		預り金		源泉所得税、住民 税、社会保険料等
			チケット代	8,211,237
			区への補助金返還額 受託販売商品の業者 支払い分等	80,000,000 6,705,131
	賞与引当金		職員の賞与支払いに 備えた引当金	29,919,705
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年以内に支 払うもの)	15,391,317
流動負債合計				481,970,881
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金 支払いに備えた引当 金	272,566,480
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年を超えて 支払うもの)	38,303,932
固定負債合計				310,870,412
負債合計				792,841,293
正味財産				1,557,891,819

監査報告書

公益財団法人せたがや文化財団
理事長 永井 多恵子 様

令和3年5月20日

公益財団法人せたがや文化財団

監事 鈴木重雄 

監事 原田茂実 

私たち監事は、当財団の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）＜並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項＞の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議の審議事項について確認し、財団幹部等から事業の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上